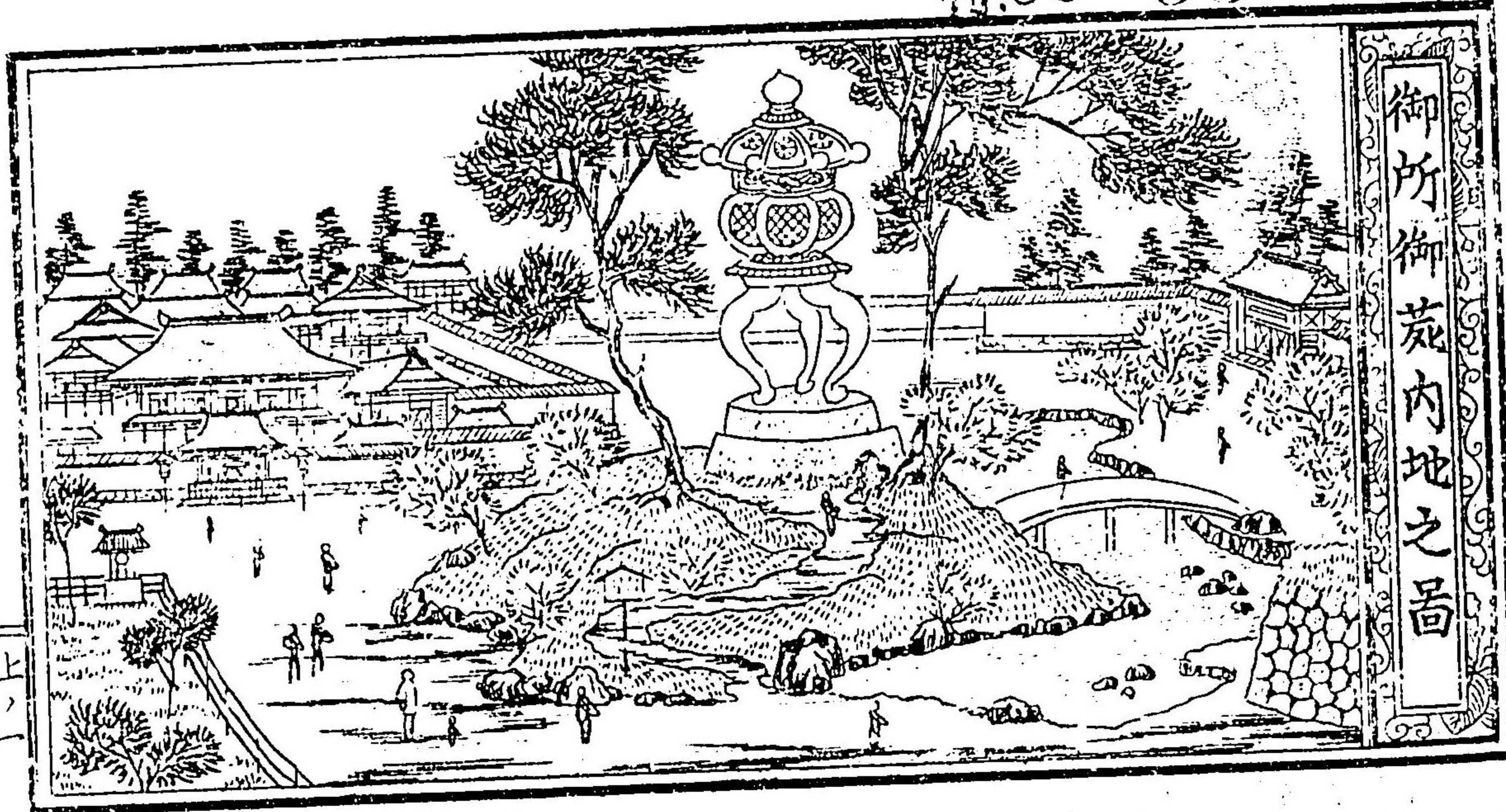


特58

5.30

新明  
版治  
櫻井連之翰編輯  
京都各所内業記  
全

特55 536



御所御苑内地之景

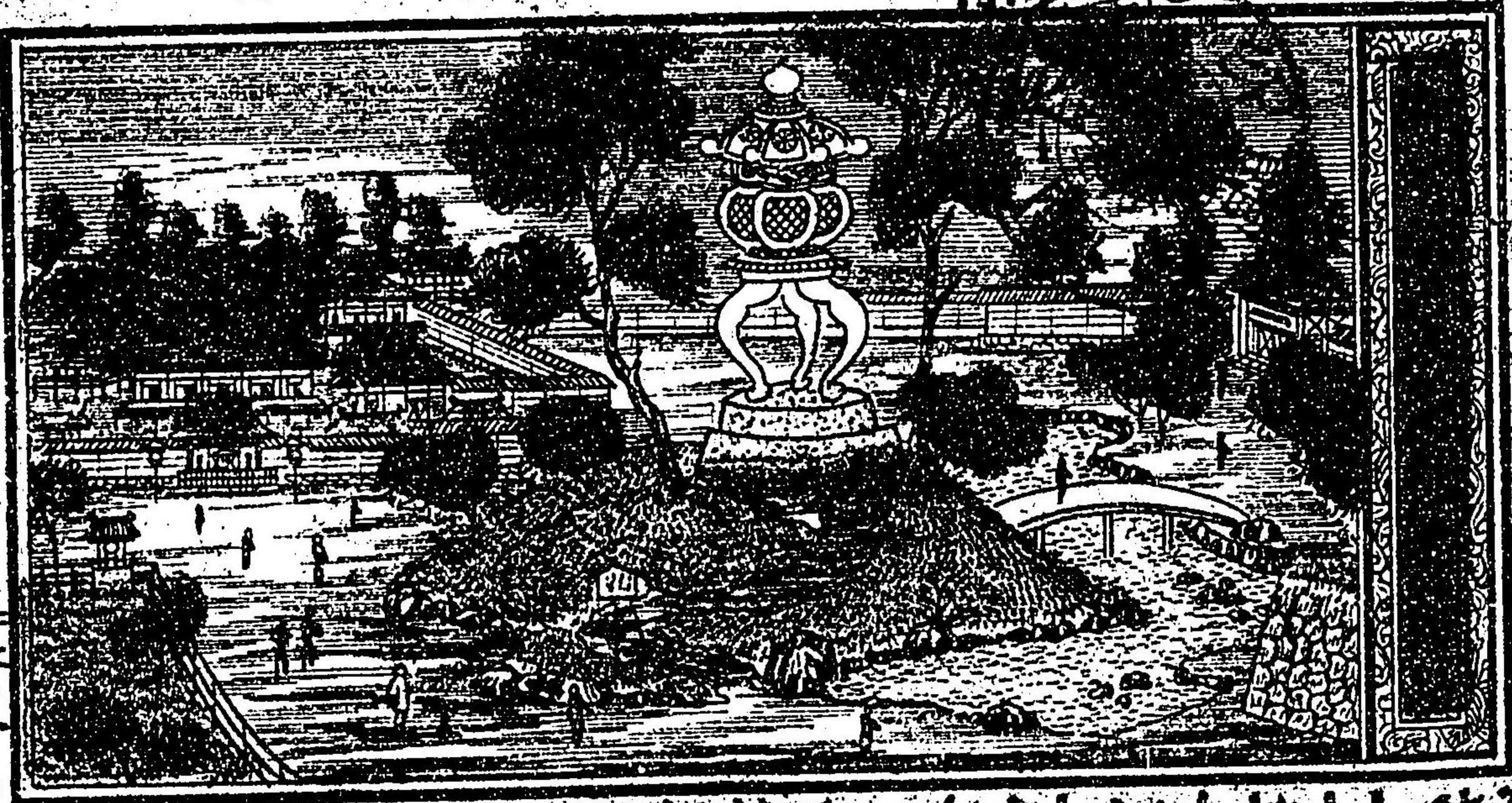
明 治 新 版

東京總彙新案記

松井達輔編輯

風月堂

特 536



圖說二十卷一四三十一日內閣文庫

上

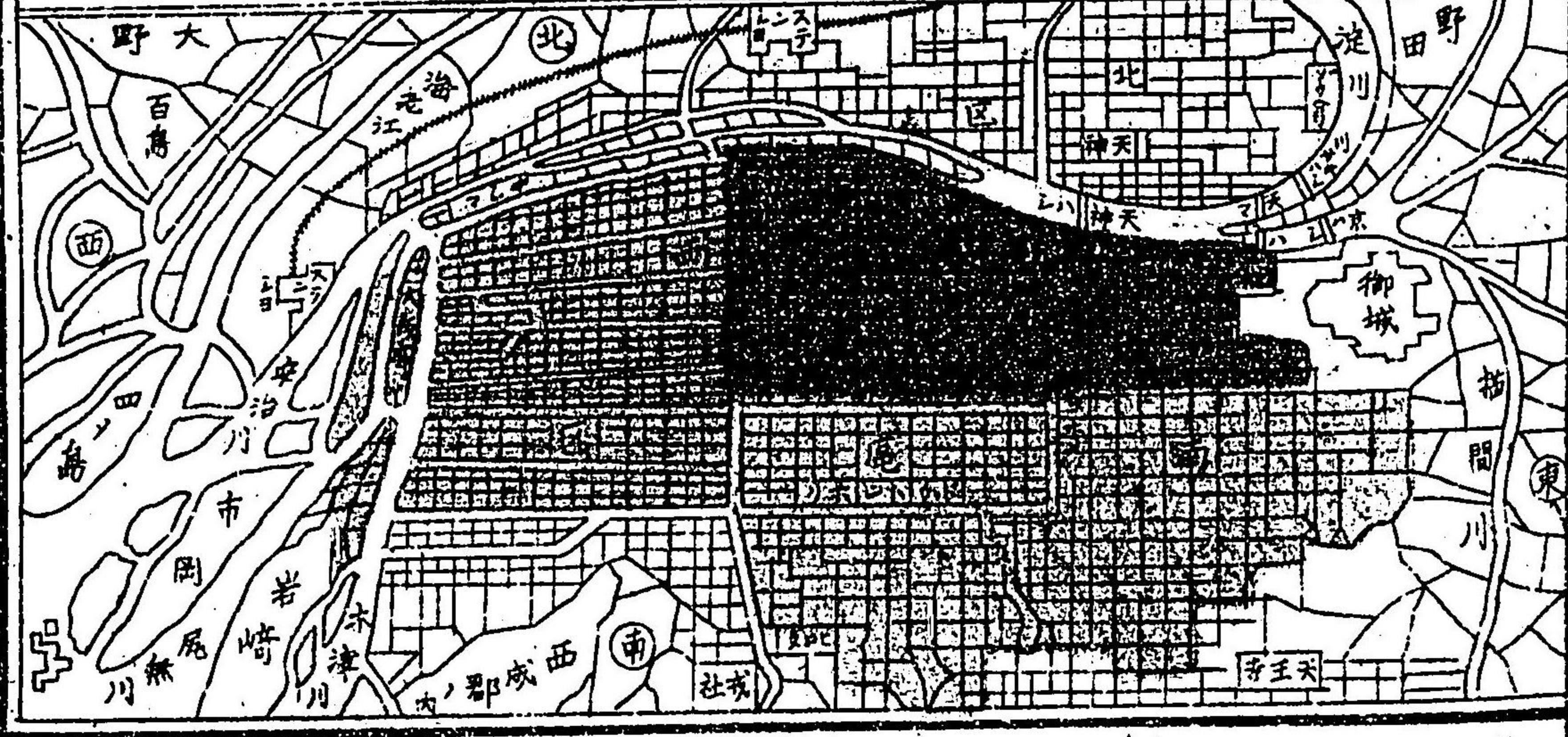
東 京 之 略 圖



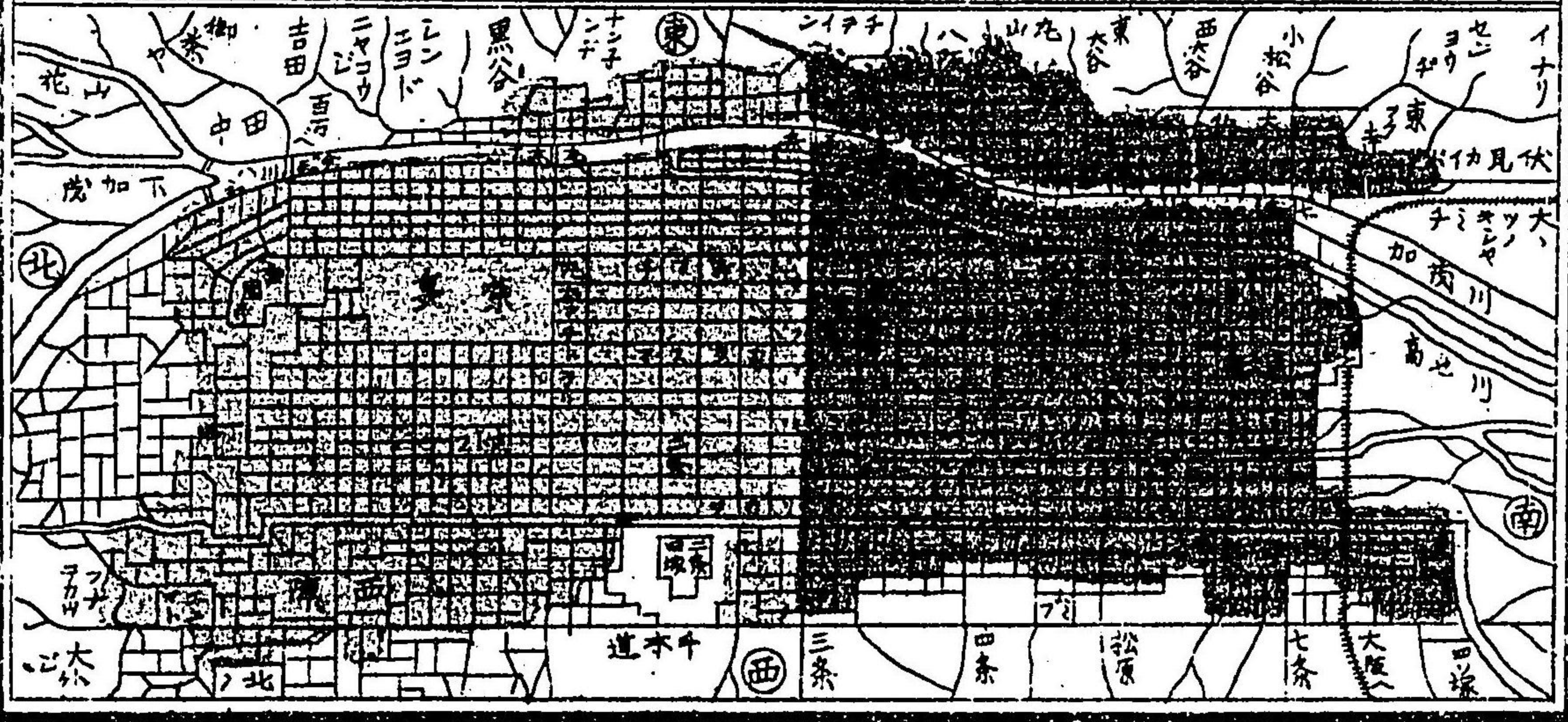
上二



大阪之略圖



京都之略圖



# 東京之分略表

皇城武藏國豊嶋郡東京ノ中央ナリ  
 康正三年太田持資ノ築ク処ニシテ後徳  
 川幕府ノ在ル処明治元年十月鳳輦東  
 下ヨリ萬世不朽ノ皇城ナリ。東京府ハ  
 麴町尾幸橋門内ニアリ  
 郡名ハ多摩郡。南豊嶋郡。南足立郡  
 荏原郡。北豊嶋郡。南葛飾郡ナリ  
 尾數ハ十五ヶ町アリ。尾名ハ右畧圖ニル  
 ○燈臺町。横濱。品川。本牧。  
 六郷川。羽根田等ナリ  
 武藏ノ國人口百七十五万五千九百八十  
 三人ナリ。是明治十八年一月調テ之ニ出ス  
 同國人カ車一万八千三百六十八輛也  
 全馬車七百八十六。但官馬車ハ別

# 京都之分略表

京都府ハ二條四城ニルヲ以テ城離宮ニ改  
 今ハ上京尾第三組下立賣通。金座ニ  
 位置ス。京都市街。東西六  
 里。北南十七間。南北十六里。三十四三間  
 上京尾組數三十二ヶ町。反別六百四町  
 戸數三万一千三十戸。人口十二万八千五百五十人  
 下京尾組數三十二ヶ町。反別五百六十八町  
 戸數三万五千四百五十戸。人口十三万三千  
 六百七十人ナリ。郡名ハ紀伊郡。文世郡  
 愛宕郡。乙訓郡。綴喜郡。葛野郡。  
 宇治郡。相樂郡ナリ。京都浴革。推  
 武帝遷都ヨリ明治二年迄ノ皇都ニテ  
 其廣サ今ハ凡ソ古ノ三分一ナリ

# 大阪之分略表

大阪府ハ西尾江ノ子嶋ニ位置ル  
 ○大阪市街ヲ四尾ニ分  
 東尾ハ町數百四十六町。西尾ハ百七十  
 四町。南尾ハ九十七町。北尾ハ九十二  
 町ナリ。右四尾内ノ大小橋數二百二十二  
 ヶ町。其内宮橋ハ百九十二ヶ町ナリ  
 ○郡名大阪又七郡。住吉郡。東成  
 郡。西成郡。豊嶋郡。能勢郡。  
 島上郡。島下郡。ナリ。右七郡ノ石高  
 二十五万二千石。大阪立校數百六十六  
 七ヶ町ナリ。燈臺ハ大阪安治川口有  
 光達ハ十三ノ三十間。櫻津全國ノ人口  
 七十八万九千八百七十八人。明治十八年調

# 京都府下物産表

西陣ノ織物。友仙漆。紅漆。鴨  
 川。麩子。鮫。繡物。絲條類。  
 漆器。金銀箔。金屬器具。紅  
 ○白粉。市松人形。清水及ヒ粟  
 田又ハ五條坂ノ陶器。御影堂ノ  
 扇。ミヤカ針。團扇。色紙類  
 ○短冊等ナリ

# 愛宕郡の部

白河石。鞍馬炭。八瀬大原ノ  
 薪柴。聖護院村ノ大蘿蔔。大蕪  
 菁。下鴨ノ酸莖。其他胡瓜。茄

子等ナリ

葛野郡の部

北山ノ在太。鳴滝。砥。嵯峨ノ竹及  
ト筍。桂川ノ鮎。松尾ノ松茸。  
壬生菜。東寺ノ甜瓜。野羊。其  
他茶。藍。慈姑。抽。枇杷等

乙訓郡の部

西山ノ石灰。西ノ岡筍。竹。西山  
ノオラタケ。其他茶。綿等

紀伊郡の部

伏見ノ團扇。寒天。蕃椒。  
蘿苣。伏見人形。縮荷山ノ松  
茸。深草ノ瓦。土器。赤土。  
九條ノ水菜。芋。宇治川ノ鯉  
。鮎。其他藍。慈姑。桃筍等

宇治郡の部

小山石。醍醐筍。山科ノ茄子。  
宇治川ノ鮎。鯉。勸修寺村ノ  
砥石。砥粉。其他茶。竹。梅実  
等ナリ

久世郡の部

宇治川大池ノ鮎。鯉。鮎。梨。桃。  
梅。茶。大池ノ水禽。其他。甘藷等

綴喜郡の部

八幡ノ芋。筍。苜蓿。新村ノ鮎。豆。  
密柑。其他茶。綿等ナリ

相楽郡の部

鹿脊山石材。重仙防。陶器。晒。上拍。甜瓜

三條大橋ヨリ凡道法

新	京	極	二	丁	半	天	竜	寺	六	十	三	丁			
御	所	所	十	六	丁	山	嵐	山	六	十	四	丁			
相	国	寺	十	九	丁	法	輪	寺	全						
上	御	靈	十	四	丁	松	尾	六	十	七	丁				
下	加	茂	十	四	丁	月	よ	み	六	十	丁				
山	花	十	三	丁	梅	の	宮	五	十	六	丁				
下	御	茶	屋	十	分	大	原	乃	二	十	半	ヨ			
同	上	三	十	六	丁	花	の	寺	三	十	ヨ				
寂	光	院	三	十	ヨ	西	岩	倉	四	リ					
証	コ	ミ	全			三	鈴	寺	三	十	ヨ				
北	岩	倉	二	十	半	志	峯	二	十	半	ヨ				
鞍	馬	三	リ			柳	谷	三	十	半	ヨ				
貴	布	祢	三	十	分	向	日	明	神	一	十	半	ヨ		
上	加	茂	五	十	三	長	岡	全							
今	宮	一	十	三	丁	室	寺	四	リ						
大	德	寺	一	十	八	丁	天	王	寺	四	リ				
舟	留	堂	一	十	六	丁	離	宮	八	幡	三	十	半	ヨ	
金	閣	寺	一	十	六	丁	山	崎	三	十	半	ヨ			
平	野	一	十	三	丁	男	山	八	幡	四	リ				
北	野	社	一	十	九	丁	伏	見	二	十	半				
寺	持	院	一	十	三	丁	桃	山	全						
龍	安	寺	一	十	三	丁	宇	治	平	院	三	十	ヨ		
御	室	一	十	半		奥	正	寺	全						
妙	心	寺	一	十	六	丁	三	室	寺	全					
高	雄	三	十	ヨ		黄	檗	山	四	リ					

護王社	全	日野薬師	二リ半
月輪	全	だいのぶ	全
愛宕山	三リ半	三宝院	一リ
釈迦堂	六丁七丁	勤修寺	五十七丁
花光庵寺	一リ半	永観堂	十六丁
御香宮	二丁寺	若王寺	十七丁
藤の森	一丁寺	黒谷	北一丁
いよみ	一リ	真如堂	北三丁
東福寺	北六丁	吉田社	北二丁
泉涌寺	北五丁	銀かき寺	三十丁
今熊	全	詩仙堂	一リ半
三十三間堂	北丁	百万へん	十九丁
豊國社	十七丁	病めん	十九丁
方廣寺	全	倶楽部	五丁
みづ塚	全	織工	全
清閑寺	北五丁	かん業	全
西大谷	北一丁	革堂	八丁
清水寺	十八丁	京都府	九丁
八坂塔	十二丁	二條旧城	十九丁
靈山	十四丁	東本願寺	十七丁
高臺寺	十三丁	六角堂	北丁
双林寺	全	四條橋	七丁
東大谷	十二丁	建仁寺	四丁
長樂寺	全	六丁	六丁
丸山	十二丁	安井	九丁
ちおめん	七丁	下御灵	十一丁
八坂神社	八丁	本願寺	北五丁
南禅寺	十二丁	ステーション	北二丁



三條大橋

鴨川筋の東西を結ぶ此通とよ赤東の巨塔也

三條通は東國より京都に至る喉口  
 貴族の行人常々多く京都の繁華  
 此橋より見えたり橋長は六十三間  
 幅四間五寸あり欄干紫銅の擬宝珠  
 十八本有銘を刻其文表在り曰  
 洛陽三條の橋至後代化度往來人土  
 右之礎入地五尋切石柱六十三本蓋



日域石柱橋盪觴乎天正十八年庚寅  
 正月日豐臣初之御代奉增田右衛門尉長盛造とあり此大橋乃東西よりたぶや敷き及び何れ社也

御所



御所三入口五丁

御所

應仁年中の乱後織田信長公及豊臣秀吉公御造營後水尾天皇御宇に至りて内裏全備る其後安政元年四月御炎上りて虽古は復し今も連綿として萬歳を祝するに堪り  
 天明七年夏とる御苑地と御開

仙洞旧御所

御所日之御門南仙洞旧殿と称するは天皇乃御位を後代天皇へ御位譲り玉て自仙洞御所へ遷玉ふ御庭中の風景は春櫻夏ハ景しく秋ハ樹木紅葉色曾冬ハ雪のあめ実とあふびあき御庭中と云

仙洞御庭



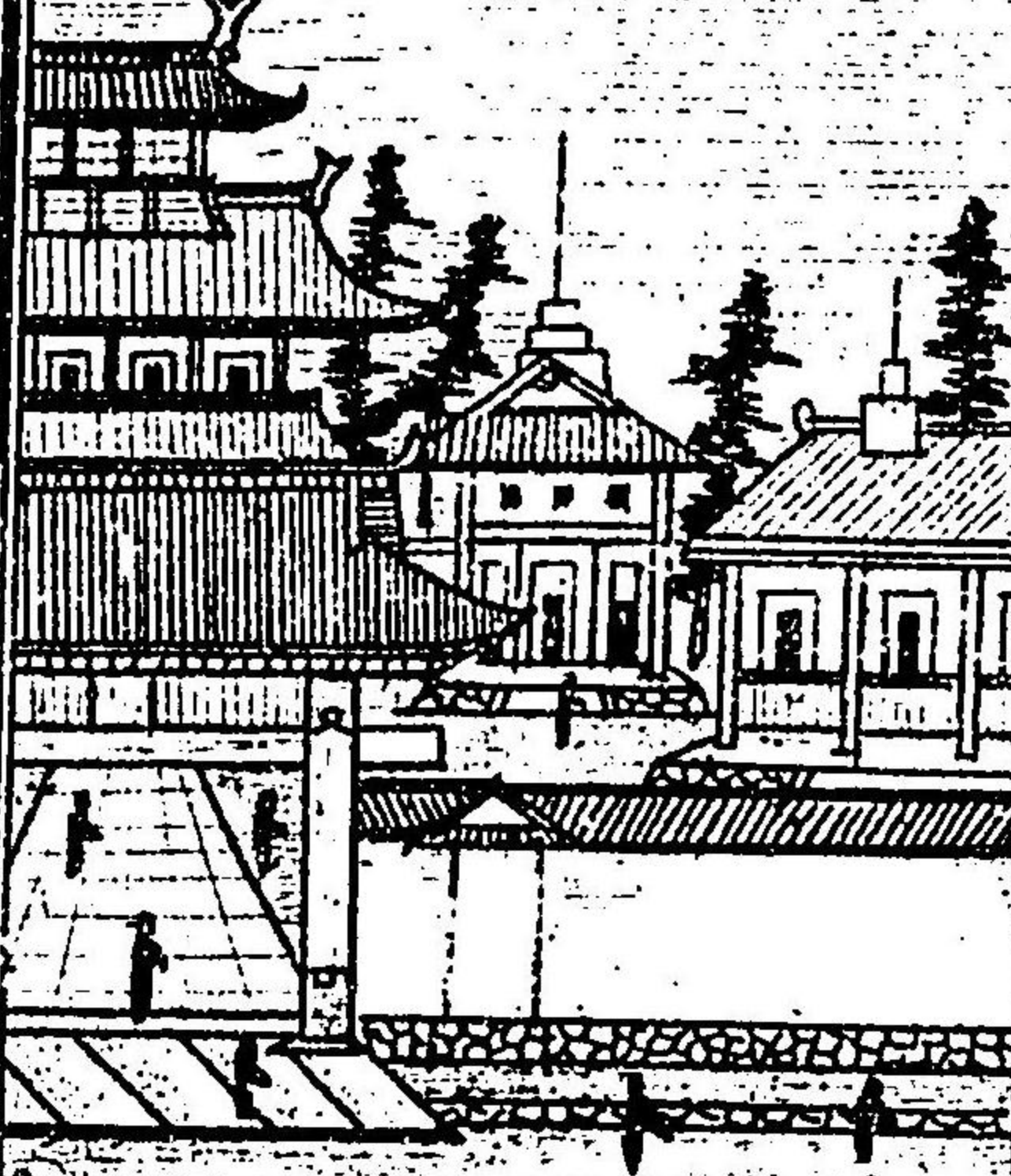
大宮旧御所

仙洞御所同所有前年博覧會と開きて諸人拜見許

京都府

上京區北一組下立賣  
釜座行當り有

京都府



相國寺

御所今出川御門の

北之河原禪宗の本山にて境内美景  
寺中之薩劔藩士の石塔數十箇有  
是ハ明治元年伏見戦争にて討た  
たり人の墓也又西郷吉之助が  
戦争秘文の石牌あり

相國寺

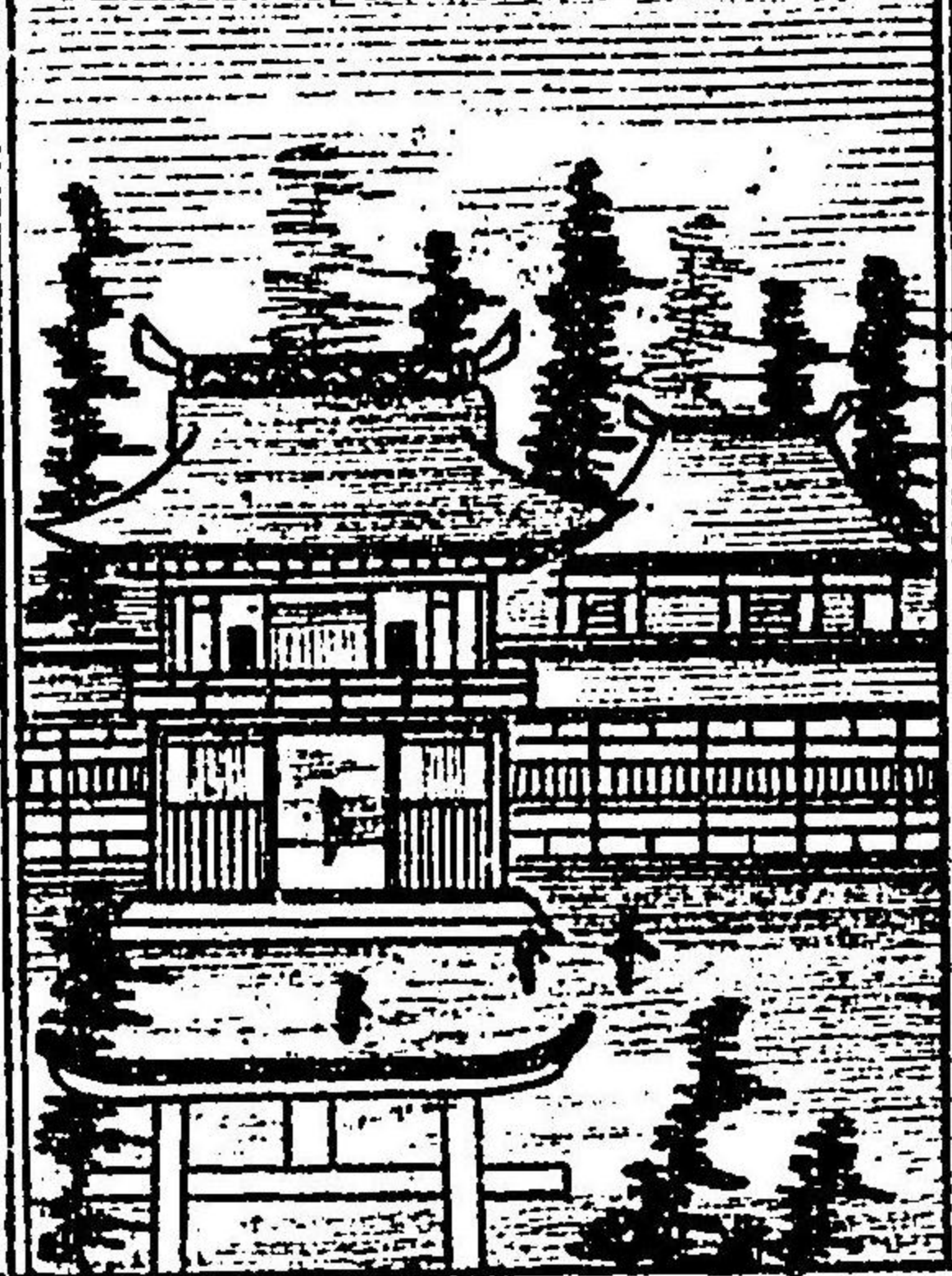


上御靈社

上京區二組より

郷社貞觀五年癸未此地に祀る祭  
神下御靈社と同じ享保十七年  
靈元天皇及び吉備真備藤原實  
嗣菅原道實と合祀せし祭五月  
十八日又定 下加茂へ八丁

上御靈



下加茂社

加茂川筋今出川北

へ入所あり官幣大社多々須玉伎  
賣命大山咋神と祭る或ハ角身命  
を奉りとも云境内は終神社あり  
此社地之諸木種を悉く終  
化せざるなり川の森に清泉涌  
出る是紀川の源なり官祭五月

十五日より俗に蔡蔡と云  
 此所より山花へ十五丁

下加茂社



山をな

愛宕郡修学院村  
 の西より料理店の平八の麦飯と  
 とはく汁の名物有川魚は高の  
 川の産よしと頗る美味なり  
 好み応じて海奥を賣り  
 庭前之高の川の清き流を遊ぶ  
 山水の景色をくとも美也  
 此所より下御茶屋へ六十丁

下御茶屋

右同村より

風色尤美なる菩提樹壽  
 月観藏六庵より變曲欄の  
 田植御譚の所あり 修学院  
 へ三丁

修学院

右同村より

後水尾天皇行宮一給地  
 一て風景美麗の筆墨は尺  
 名難く此所の八景  
 村落晴嵐修学院鐘遠岫帰  
 樵松崎夕照芽誓秋月平田  
 落雁隣雲夜雨散峯暮雪  
 等あり是を上御茶屋と云

修学院

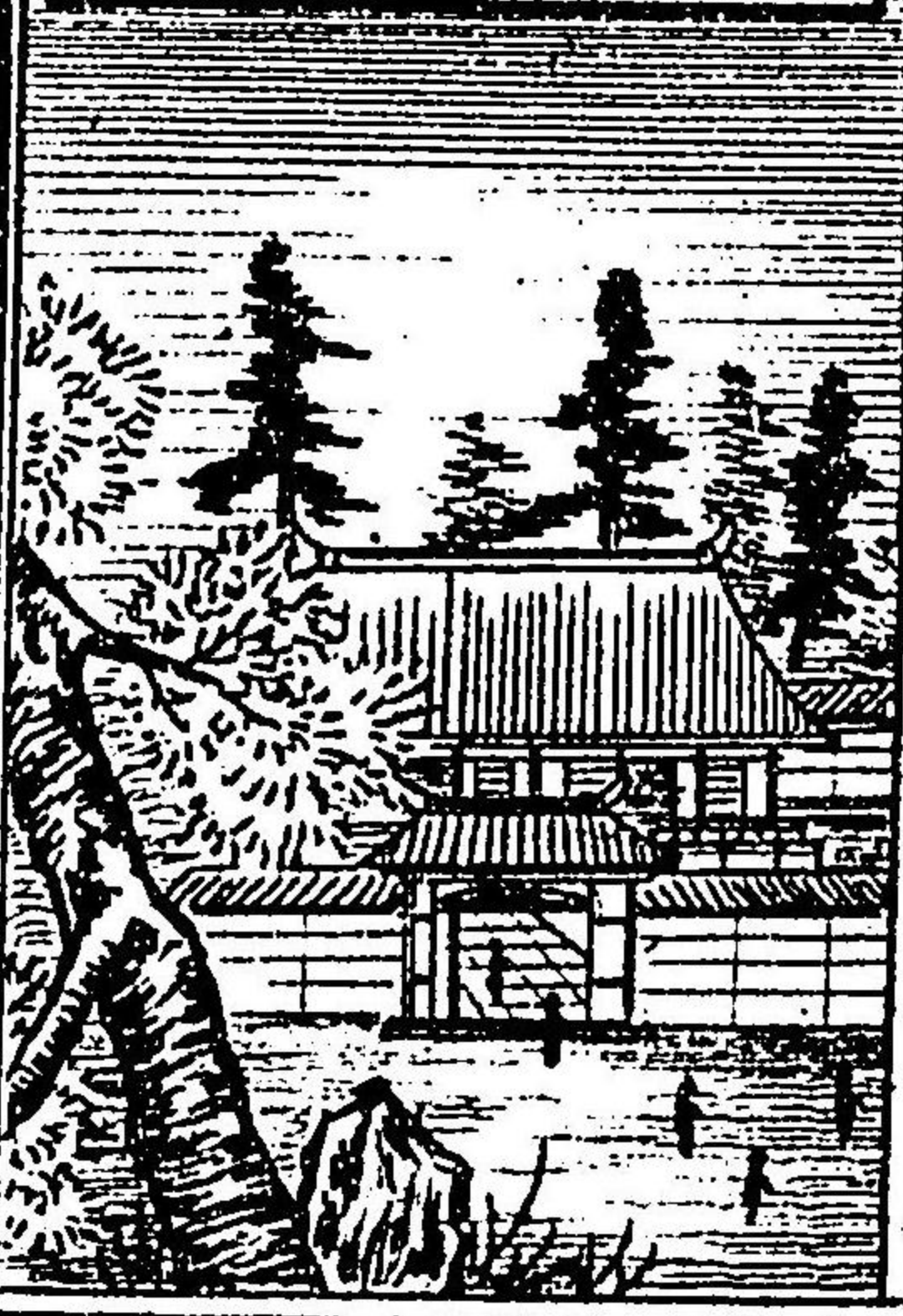


寂光院 右同郡大原村

何より真言宗弘法大師開基  
文治年中建礼門院閑居給  
地より今も尼寺也門院の御  
影阿波内侍の像有り亦同村の  
清水有り謠曲を聞へて世人の知  
る所なり 証據の阿弥陀三

證據阿弥陀 右同所より

浄土宗勝林寺



北岩倉 愛宕郡岩倉村

有り大雲寺と云天台宗知弁大僧  
正開基より大雲寺の額ハ勅筆  
て佐理卿の書なるを境内山上  
堂あり

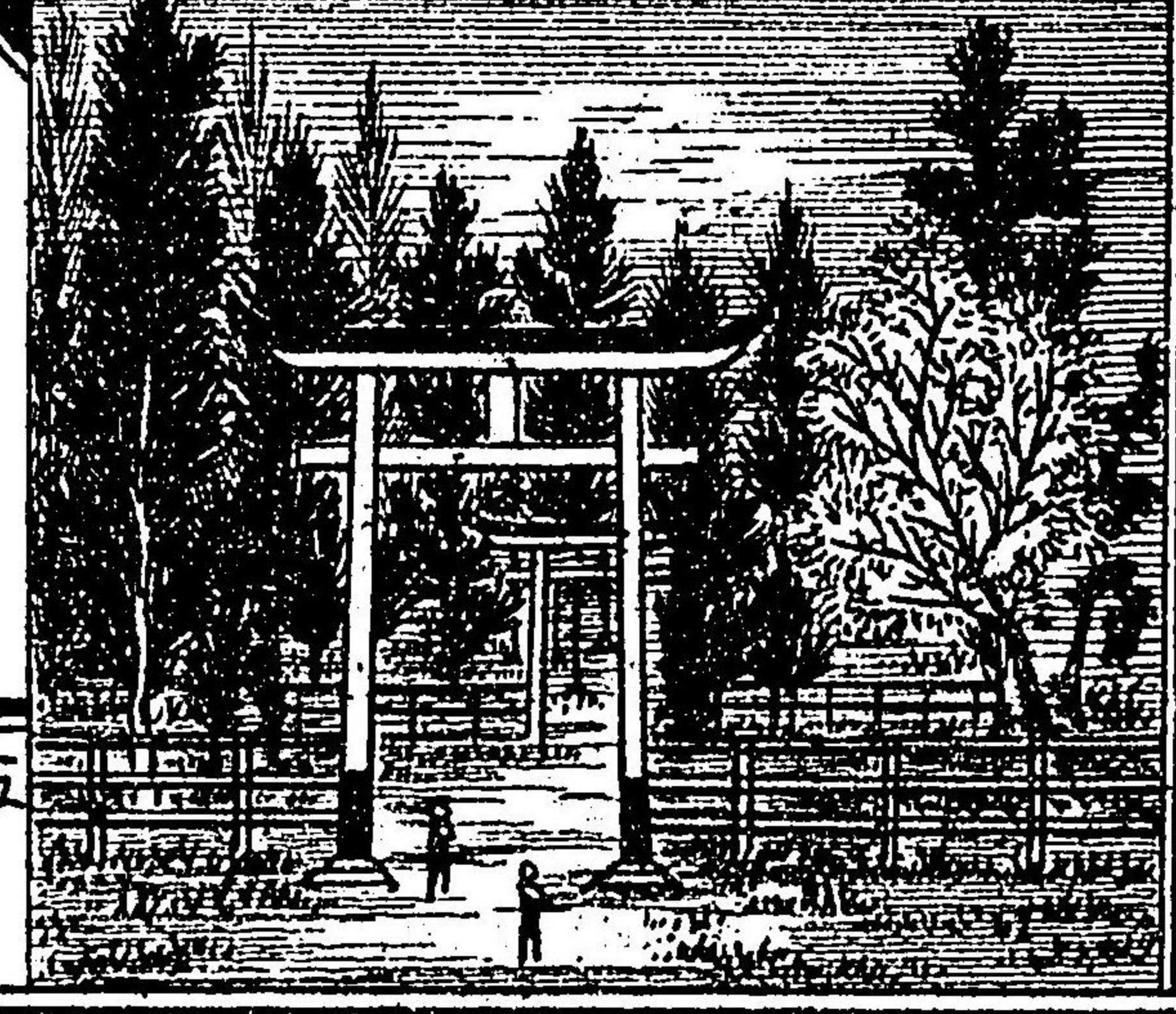
鞍馬寺 愛宕郡鞍馬村

何り天台宗藤原ノ伊勢人創  
建して僧峯延中興たす本  
尊毘沙門天を安置す例年  
月初寅の日諸人群集せ

貴布祿社 同郡貴船村

何り官幣中社水神罔象女と祭  
る雨を祈ると志る有又鶴  
王の滝有り

上加茂

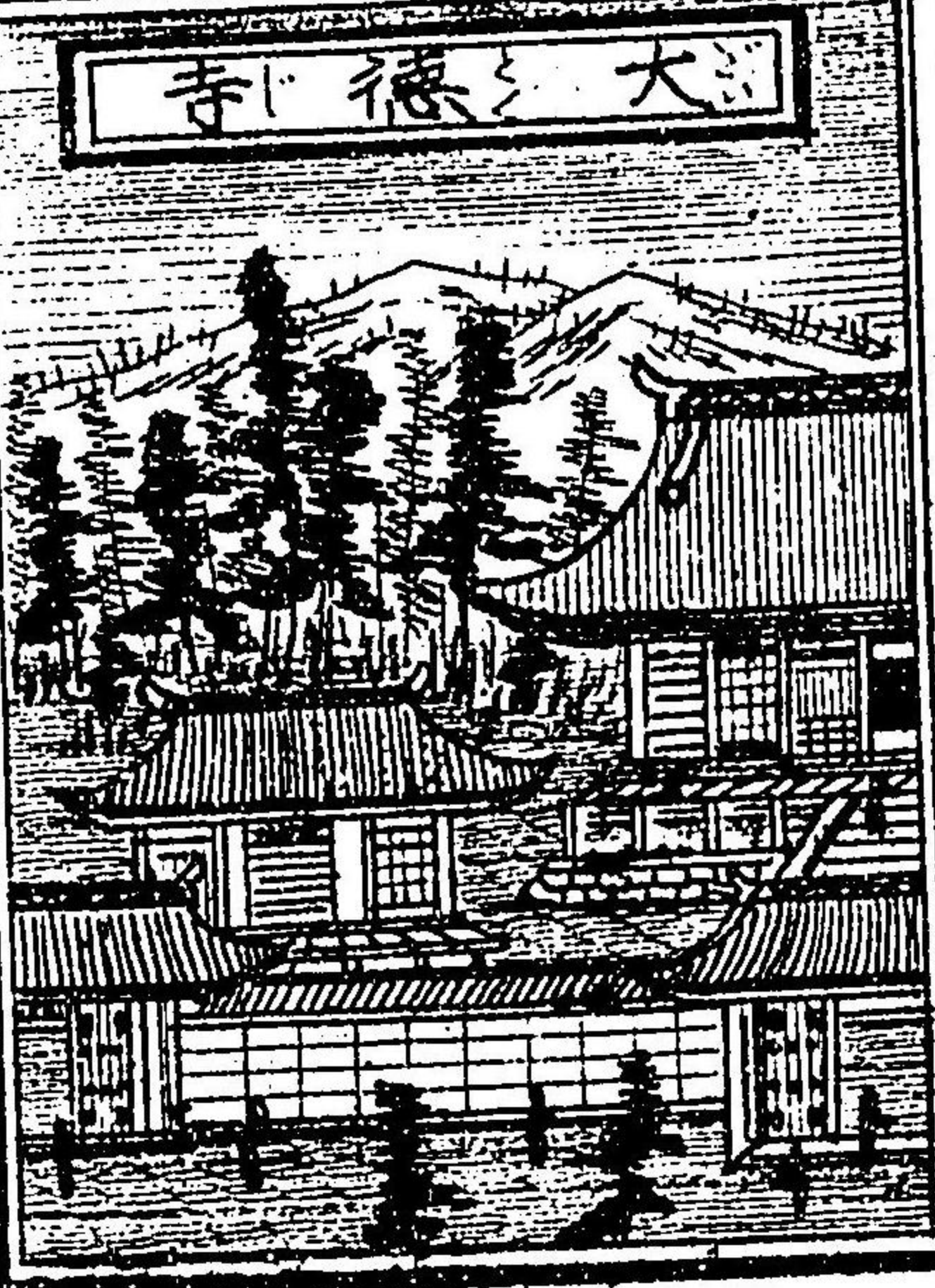


上加茂神社 愛宕郡上加茂村

この所官幣大社加茂別雷神  
と号す加茂別雷命と祭る  
欽明帝の御宇始て茲に祭  
礼を官祭の四月十五日あり  
俗に紫祭と云五月九日競馬  
式六月廿日七月一日神祇の事

今宮社 同郡東紫竹大門

村の所社格未定祭神素戔嗚  
尊縮田媛の二神を祭る長保二年  
庚子五月創建なり四月十日ハ排  
徊祭の所也 大徳寺ハ四丁



大徳寺

禪宗大燈國師開基正中元年甲子  
創建也加藍い赤松圓心山門ハ連  
歌師宗長閑い平利休の寄附あり  
一休和尚住居の地として當寺あり  
遺物等あり又い織田信長公の菩  
提所なり 建勲神社ハ六丁

建勲神社 愛宕郡舟岡山

東のふもとふゆ多別格官幣社祭  
神も織田信長公なり 金閣寺ハ十丁

右社



金閣寺

愛宕郡大北山

村之阿多鹿苑寺といふ禪宗僧疎石開基應永年中且利吉満公山莊を捨て是寺を創建せしむる三重の金閣及び南天床挂假山池泉石等悉く有名として後山をさび西ノ衣笠山の名山を望み洛西第一の勝地也 平野へ三丁半

金閣寺



平野神社

葛野郡小北山村

まゆの官幣大社祭神今木神久度神古閑神姫神を祭る官祭四月二日境内櫻木多し世々平野の夜櫻と云春の地殊々賑へる 北野へ三丁半

北野社



北野神社

上京尾六組北野

有官幣中社菅原道實公の灵を祭る天曆九年乙卯右京七

糸文字創建す天徳三年己未右  
 大臣師輔公造營す當社加藤  
 肥後守寄附大鐘あり又秀吉公  
 大茶湯跡あり官祭八月四日私祭  
 十月四日神幸あり境内に数千本  
 の梅園あり春の花見の遊人群集  
 此園の下は紙や川の清流あり  
 夏は納涼とし又當社東御門  
 前上七軒と号す遊里あり

等持院

葛野郡衣笠山の  
あもともあり

禪宗開基の夢窓  
 國師の豆利家累  
 代の招堂あり



龍安寺

右同郡等持院の  
西にあり

同宗細川勝元の  
 造營當寺の池  
 冬は鷺鳥書來に

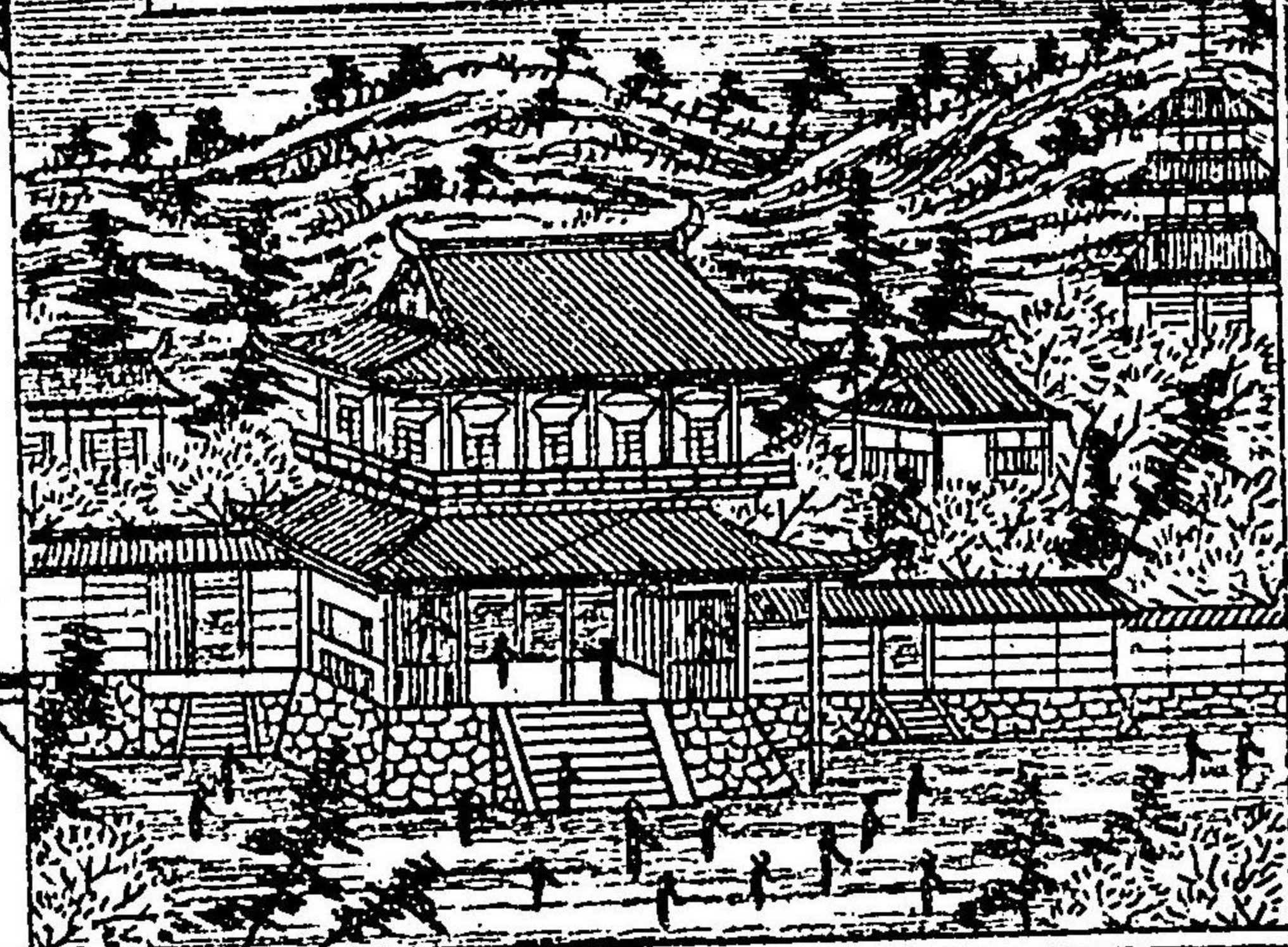


御室

葛野郡御室

何事仁和寺と号す真言  
 宗仁和四年戊申創建又宇多  
 天皇讓位の後宮殿を茲に造  
 り奥山教を修し給ふ境内櫻木  
 多し一種の名木あり曰御室御  
 所と云し也 妙心寺一七丁

御室仁和寺



妙心寺

葛野郡池上村

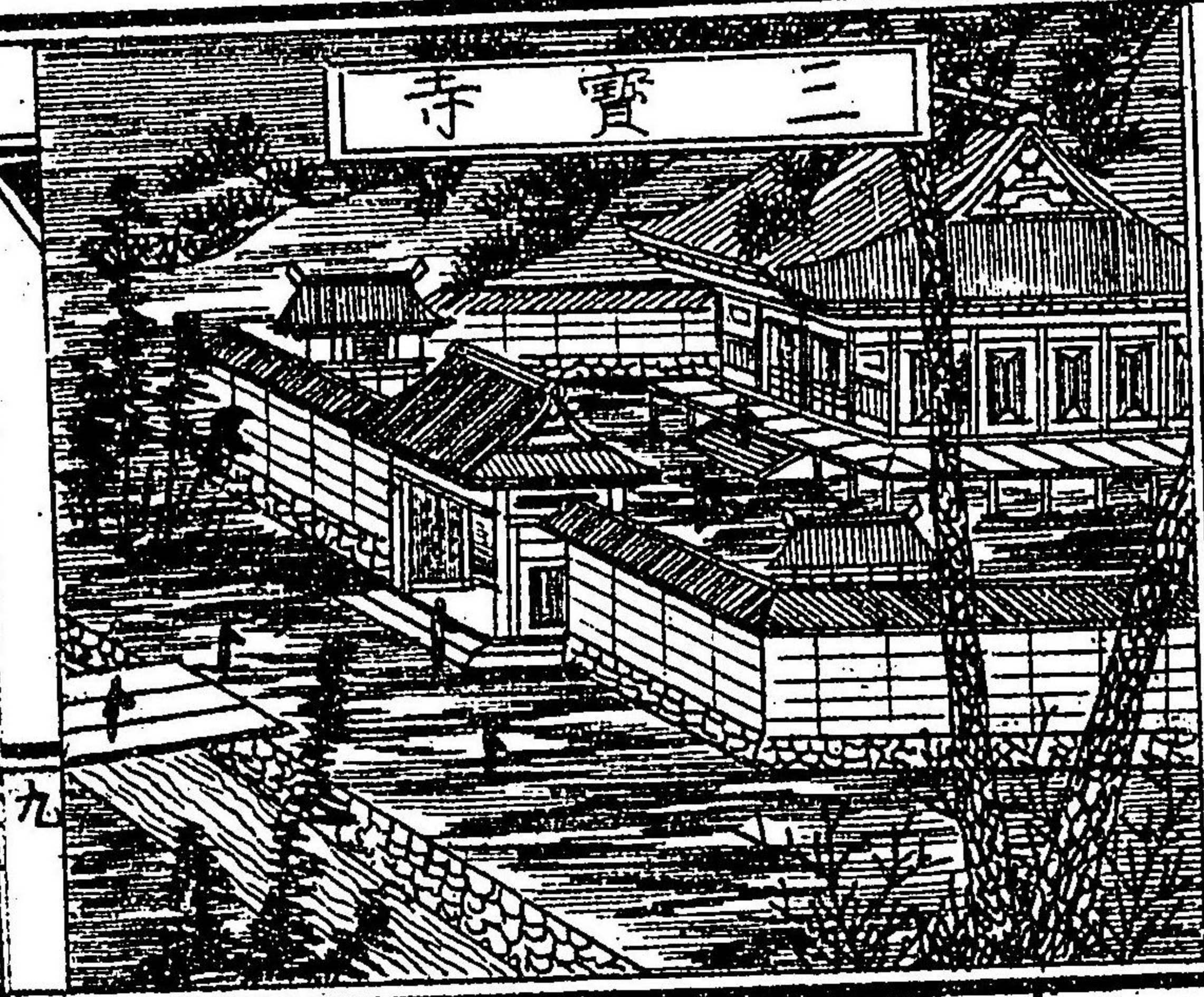
あり禪宗曾慧玄開基延元二年丁丑花園上皇離宮を以て此寺を創建せらるる伽藍山魏々として尤も美を盡せり境内の老松も今も鬱茂す當寺を正法山と号す佛殿と釈迦如来又開山達磨臨濟とて其堂舎あり法堂又經藏。又玉鳳院。唐門の額ハ法皇御筆



三寶寺

葛野郡嵯峨

當寺ハ日蓮宗本堂ハ南向にして釈迦如来ハ山上より開山ハ日護上人あり此邊ハ妙光寺。法藏寺。般若寺。平岡ハ藩官。善明寺。右の寺等ハ是れとも縁由を略すあり





梅尾山高山寺

首野郡梅尾村

華嚴宗本尊の釈迦如来開山  
明意上人あり秋の頃ハ紅葉の  
ゆるやうお時ハ景色よし諸人  
群集す



真言宗律開基知泉法師也

本尊釈迦如来あり明意上人の  
御作あり此所紅葉多し

真言宗律開基知泉法師也  
本尊釈迦如来あり明意上人の  
御作あり此所紅葉多し



高雄山

洛西首野郡中島村  
あり護王社三丁

神護寺と云真言宗延暦年中和氣清  
麻呂創建し神願寺といふ天元甲  
辰陸奥上皇是を弘法大師に賜ふ  
今の号は更む金剛定寺の額書石  
あり楓樹殊多し美景也



護王神社

右高雄山より利  
月輪寺ハ十三丁

別格官幣社和氣清麻呂の冥

を祝り  
給ふ所



護王神社

月輪寺

愛宕山の南北より

九条関由兼實公閑居の地あり  
名木時雨の櫻龍女水あり 愛宕山へ  
十五丁

愛宕山

葛野郡上嵯峨村  
嵯峨釈迦堂十六丁

郷社軒遇突智神伊弉册尊の三神  
を祭り雷神破元神を合祀せ  
天應元年辛酉創建を伊勢參宮  
せしを此當社に詣るを例と  
又火災を除くの神と崇む藤子  
清龍川あり此處に旅宿や又ハ  
茶店等ありまた河利

愛宕神社



釈迦堂清涼寺

葛野郡上嵯峨村

河原本尊釋迦牟尼佛の立像と天  
竺毘首羯磨天の作あり門前ハ  
旅宿やあり 天龍寺へ六丁

釈迦堂



天龍寺

葛野郡下嵯峨

河原禪宗後醍醐天皇追福の爲  
に御建立ありて庭前に楓樹多し

嵐山

右同所の西南に有

龜山帝未野より櫻木を敷取寄  
せ敷覽し給ふ前之大堰川ありて丹  
波より舟筏を下せ茲に架せ橋を渡  
月橋と云ふ又千鳥淵戸難瀬あり  
大悲閣角倉了以の創建あり此山  
春ハ櫻木爛漫し社跡を嵐山の

名子るひ避暑の舟棹し螢火祀  
 光の燈をからせ紅葉を賞して旭を  
 夕お至るを忘る雪の且まを車力を  
 飛して四時の遊觀雅俗之集り山  
 水名相府下第一を利大堰川の  
 三軒家とて席貸茶店あり好  
 應じて料理とてまき法輪寺に

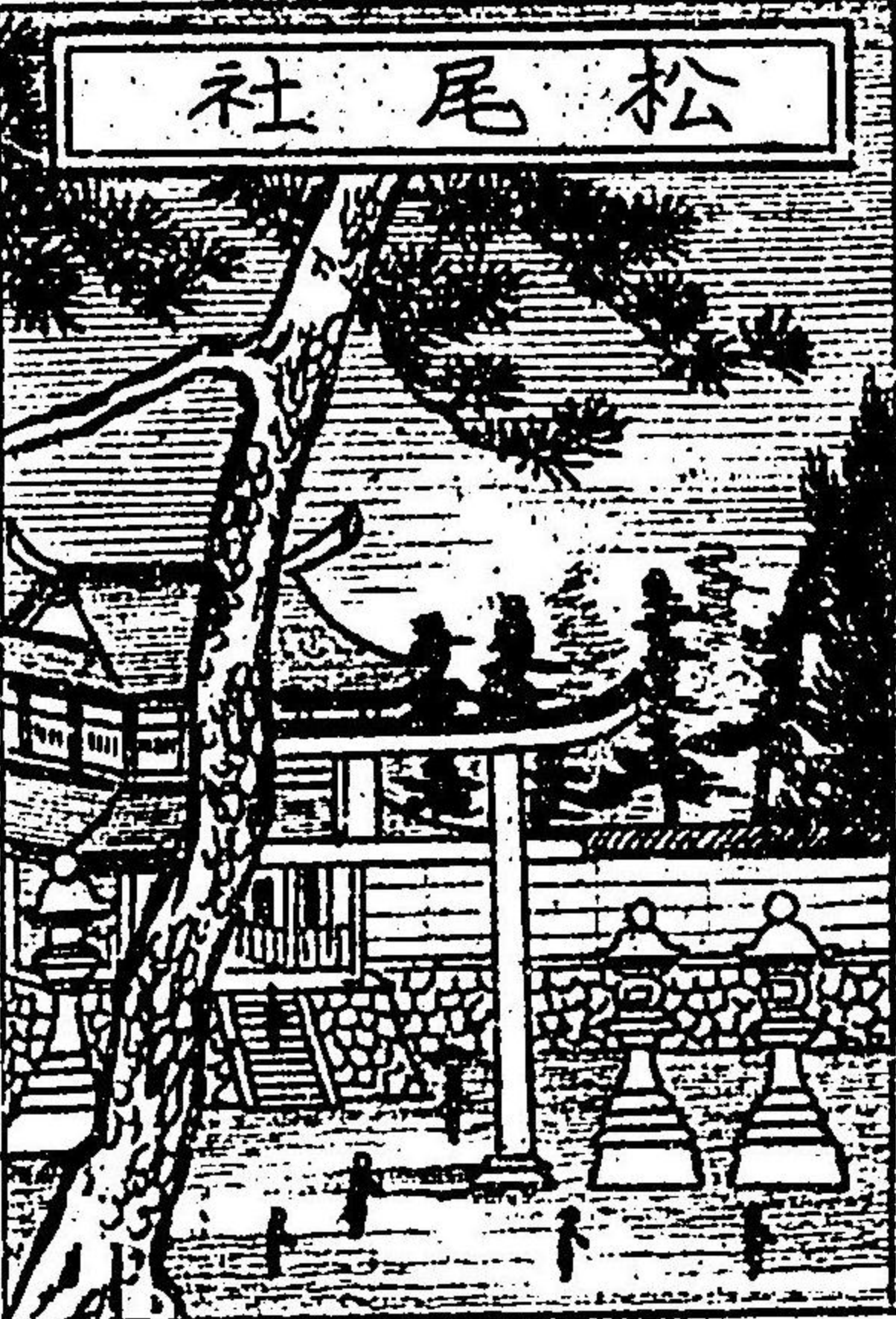


嵐山

法輪寺

嵐山の南にあり

真言宗本尊虚空藏菩薩あり都  
 下の幼童十三詣とて例年三月  
 十三日はい殊之群集は松尾に丁半



松尾社

松尾神社

葛野郡上山田村に

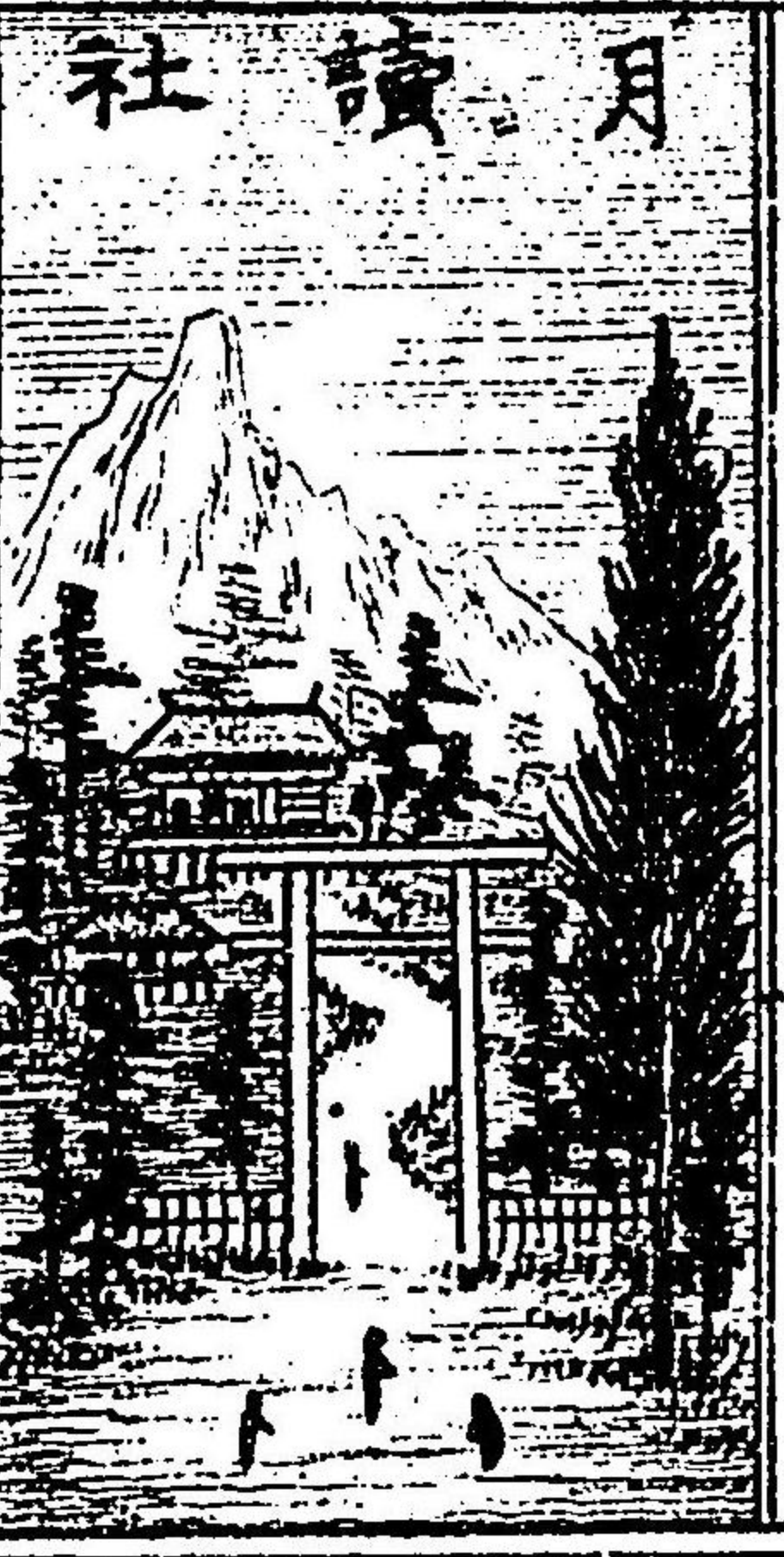
何れも官幣大社大山咋神市杵島  
 姫神を祭る大寶元年辛丑創  
 建あり世に酒造家寺に此社へ  
 大々神樂を奏して敷祭祭と祈  
 るとそ官祭は四月二日私祭は五月  
 上酉日神幸あり  
 月讀社へ三丁

又云松尾の祭神七社、月讀社、榛谷社、三の宮、當本社、宗像社、衣手社、四大神、寺の七社と云ふ也

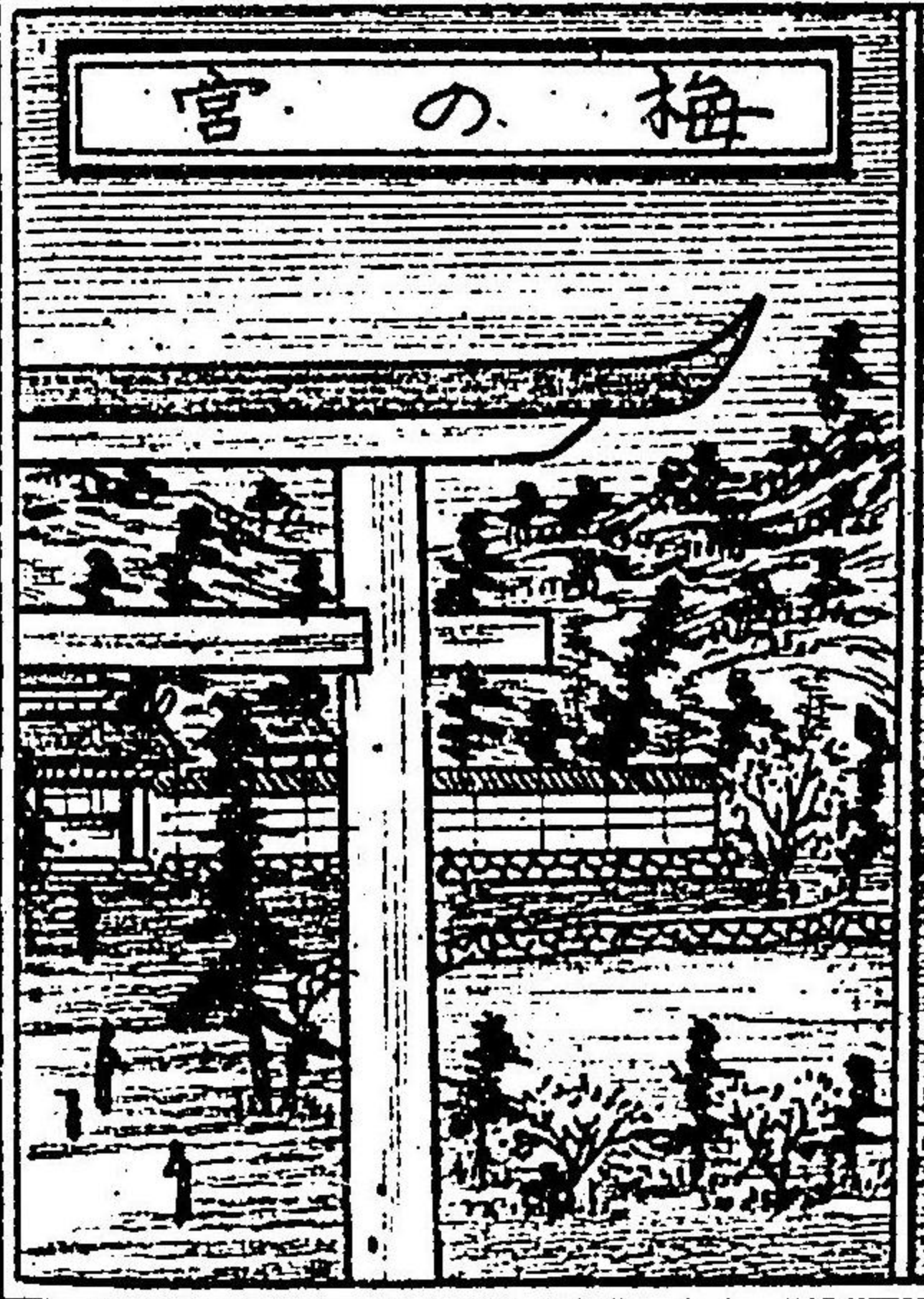
月讀社

松尾より二丁南

あり仁尊三年痘瘡大に流行して鬼人多く死るゆへ神託有て免る也



月讀社



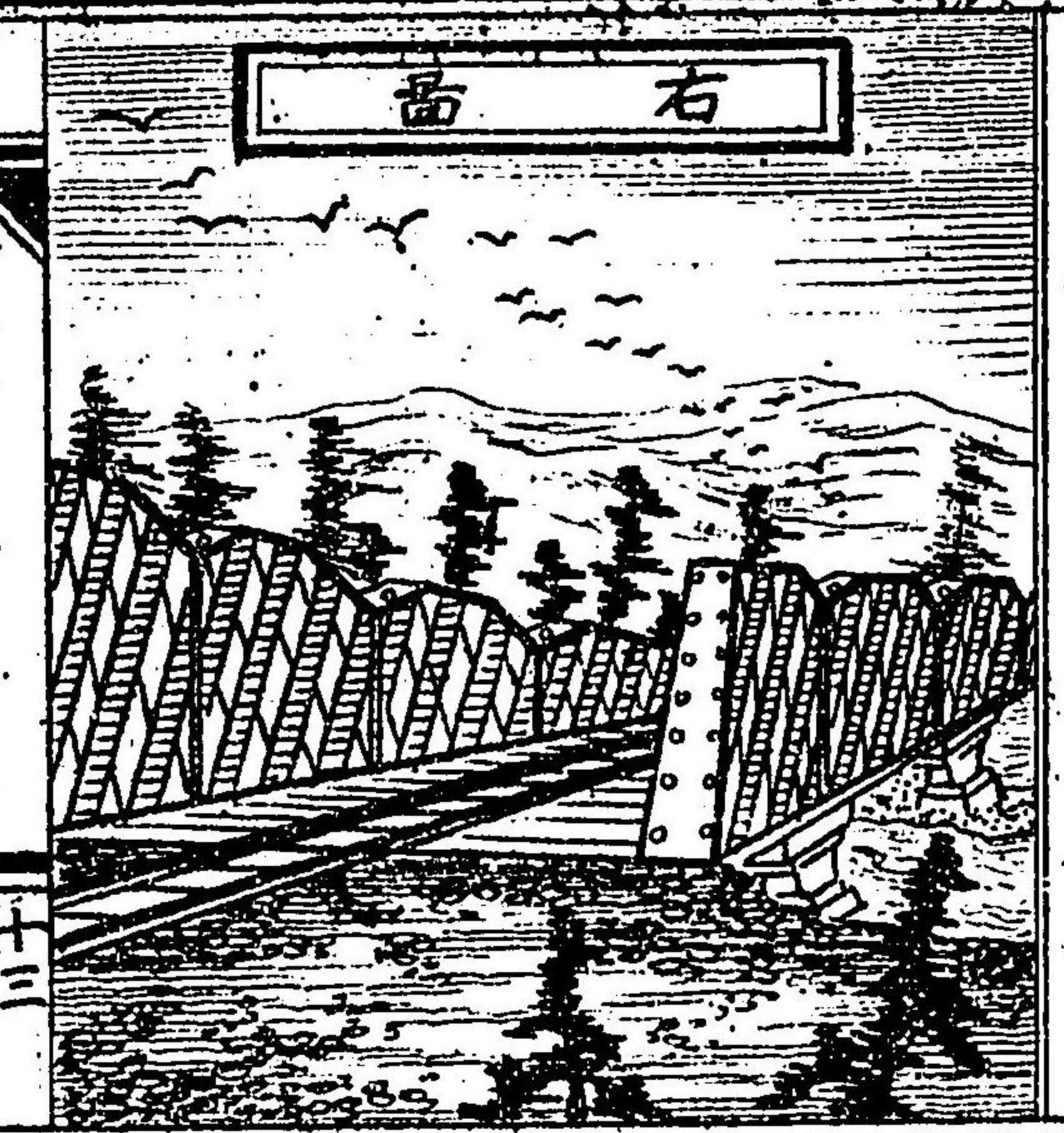
梅の宮

梅の宮 葛野郡西梅津村

はつら官幣中社酒解神大若子神小若子神酒解小神とと祭る此地は数多白紅梅林よして風景実妙なり 掛川鉄橋へ八丁

掛川の鉄橋 同郡掛川に架す

是京坂間汽車の通路あり明治九年九月建築なり亦近村より甚よ云廻地獄尊あり久遠寺云



右 橋

大原野神社 乙訓郡大原野村

おろし官幣中社武甕槌神經  
津主神天兒屋命姫神と祭る



大原野神社

花の寺 乙訓郡同町の西

ふ有里小塩山勝持寺と号け  
天台宗開基ハ役行者あり西  
行法師の像又西行櫻あり



花の寺

三結寺 乙訓郡灰谷の上

有元兼学宗本藏仏眼曼陀羅と  
觀性法橋の筆當寺の西の方巖々



右番

栗生光明寺 同郡栗生村ニツ

浄土宗四光大師四國へ左遷の時  
母儀の消息を以て自作せる所  
の像を安んじ工匠當寺堂塔の  
精工を賞して之を模範となす  
者あり

善峯寺 同郡小塩山の上

てあり天台宗開基ハ源実上人と  
觀性法橋慈鎮  
和尚の墳あり



右番

柳谷 乙訓郡揚谷

宇白川天皇御宇水觀上人の創  
 建なる揚柳の龍又揚柳水鐺  
 站水等何里眼を惱の客參詣  
 常ふたふぞ



向日神社 同郡向日町

向日神社大歳神御子向日神之  
 此社の額と小野道風の筆  
 なるといふ又此所よ京坂の  
 流車道路と向日町ステーションヨ有



長岡天満宮社 乙訓郡開田村

よりの境内梅櫻紅葉多し昔  
 原道實公祀る靈元天皇震筆  
 の額あり道実公太宰府(後)  
 玉ふ時自尊容を写して與へ



天王山 乙訓郡大山崎有

素盞鳥の御子八王子鎮座あり  
 神門額曰小野道風筆也例祭  
 四月八日養老二年再建なるも



寶寺

同所之有真言  
 宗本尊觀世音  
 堂内寶頭留共  
 行基の作あり  
 打出の小進當  
 寺の什器物也



離宮八幡宮社 同郡山崎在よ  
 何社格未定應神天神功皇  
 后姫神祭貞觀元年己卯の御  
 創建あり

城南神社 紀伊郡上鳥羽村

ふあり祭神曰國常立尊あり  
 日本不易皇太神宮と稱す

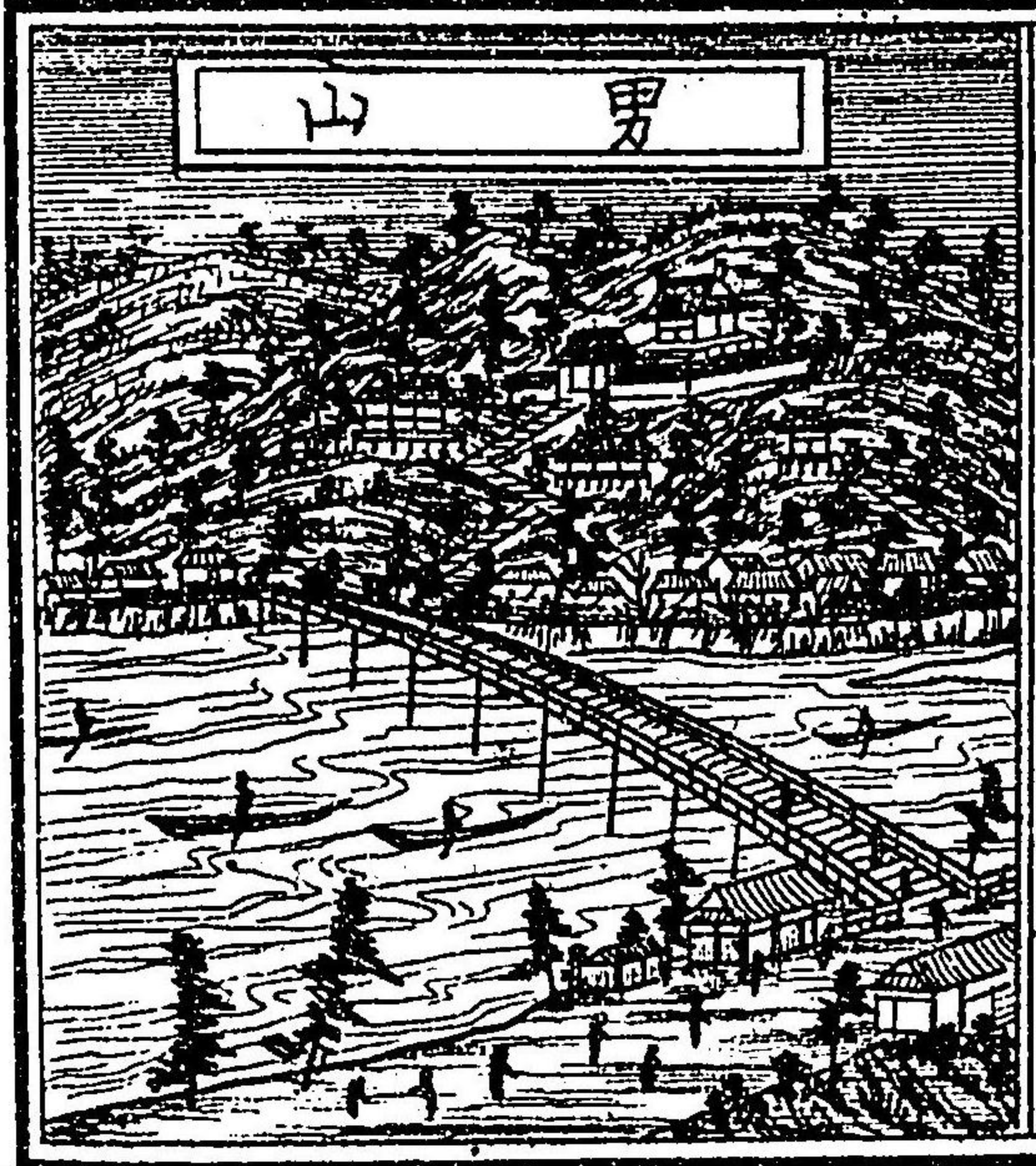


瀨川渡 久世郡属

豊臣秀吉公の御時迄ハ船  
 渡一秀吉大橋小橋孫橋  
 等を架し玉ふ

男山神社 綴喜郡八幡莊

官幣大社也當社の日本三社之内祭神應神天皇氣長足姫尊比咩大神を祭る清和天皇貞觀二年庚辰殿を創建の金くも多社殿の楹に黄金之又判官正成が植へ楠木大木今と殘せる此山嶺を香呂峯又の嶺といふ伏見ヘリ



伏見駅

紀伊郡の河合

名駅なるも鎮臺營所も鍋島町といふを今も大津一字置る此地は墨漆寺とい墨漆櫻墨漆井欣浄寺とい深草少将古跡室塔寺とい日蓮聖人の遺骨を納む墨漆中書島遊女町あり京橋辺より大坂へ下りの船も晝夜といで又蒸氣船も毎日午前午後二出帆す船所の近邊に旅宿や多し

伏見船場





桃山 右同町の東

あま秀吉公の城址あり  
松原山の木丸又弘聖堀あり  
此辺桃木多し

宇治平等院 久世郡宇治川

の南に在り天台宗あり初め  
河原院融公の別荘あり一が  
永義七年関白頼通公寺と  
なり一平等院と号せ院内  
鳳凰堂あり瓦上より金銅雌  
雄の鳳凰を冠せ又頼政鎧拵  
乃松扇の芝等あり



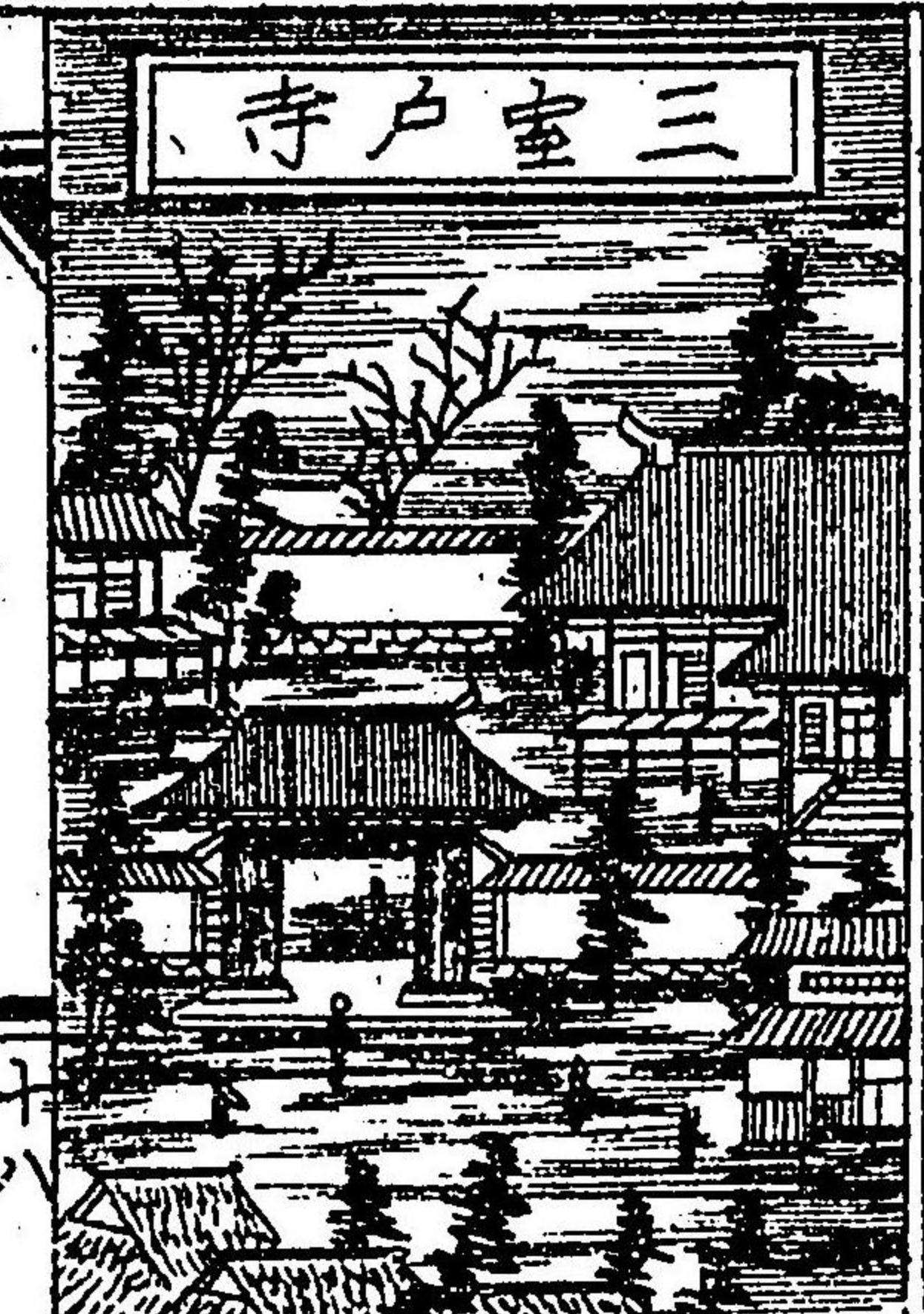
興聖寺 右同町の川北

小阿多禪宗後深草天皇の  
御宇創建道元禪師開祖あり  
正保年中万安和尚中興せ  
舊淀城主永井尚政再び營  
膳先門前の宇治川中より浮  
島又ハ亀石あり是名高し

三室戸寺 宇治郡元三室戸

村の西に天台宗本尊千手  
観世音ハ閻浮檀金の立像  
氷底より出現せしと云ふ

三室戸寺



黄檗山

宇治郡大輪田

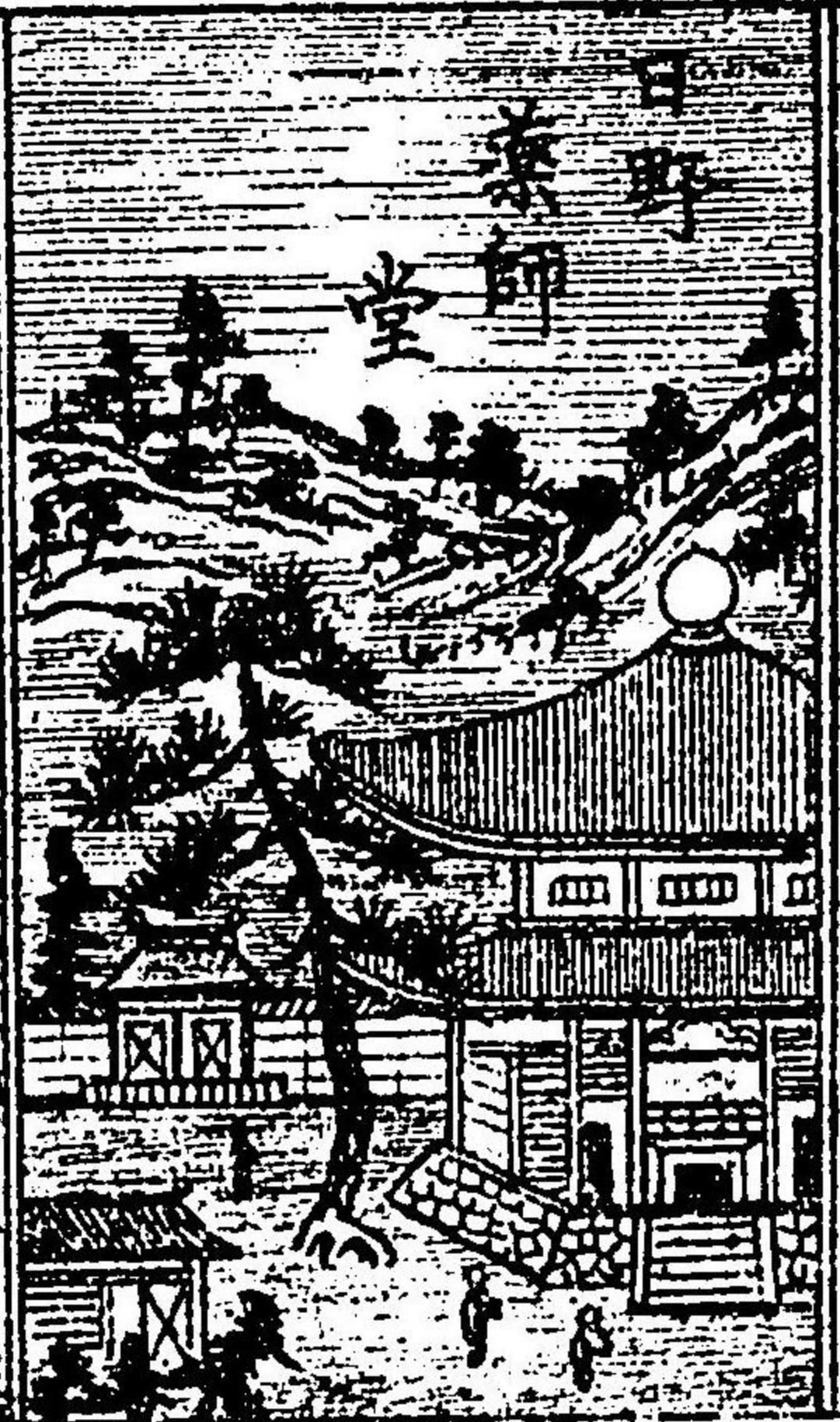
村の阿多禪宗大明福州の隱  
元和尚承應三年甲午此地  
渡り寛文元年辛丑當寺  
を建立す竟内美景あり  
又一切經の版を藏す又後  
水尾天皇より賜る仏舍利  
あり當山万福寺と号す又  
後水尾天皇より大光普照  
國師の号賜ふ



日野薬師

宇治郡日野村あり

真言宗法界寺といふ婦人乳の  
出る祈願するよしあるとありと云



醍醐寺

宇治郡醍醐村  
山上よりみて  
真言宗開基  
聖僧正延喜四  
年の建立あり  
當寺は西園  
十一番札所也  
外は櫻木あり



三宝院

宇治郡醍醐村に  
あり真言宗此寺秀吉公御建  
立境内櫻木多し



勸修寺

宇治郡觀修寺村  
あり真言宗本尊觀世音  
延喜帝御等身の像あり

花山元慶寺

宇治郡北花山村に  
あり天台宗本尊薬師如来の僧  
正遍照の作あり人皇六十五代崇  
徳天皇御等身の像あり  
院と奉祓あり



御香宮

紀伊郡伏見子有  
神初皇后と祀る  
神門の東に御香  
水と云井あり



藤の森神社

紀伊郡深草藤の森  
町あり郷社崇道盡敬皇帝崇道  
天皇御豫親王と祭る陰曆五月廿  
氏子鎧と着し走馬となり是  
蒙古退治の遺風とや境内に旗  
塚蒙古塚あり

藤の森神社



稲荷神社

紀伊郡伏水街道黒

門南より官幣大社往昔人皇四  
十三代元明帝の御宇。和銅四年二月  
十日午の日以山より出現し。必ふ本  
社第一ノ宇賀御魂神第二社ハ素戔  
高尊第三ハ大市姫。田中社。四大神  
此二神を併せて五座と稱し延喜  
八年戊辰の創建より官祭ハ四月  
九日私祭ハ五月上の卯日神幸り  
又二月初午日諸人群参せ。東福寺  
ハ七丁



稲荷表門前ニ大津。京坂瀧重  
のステンレヨを置る

東福寺

下京區本町十八丁目

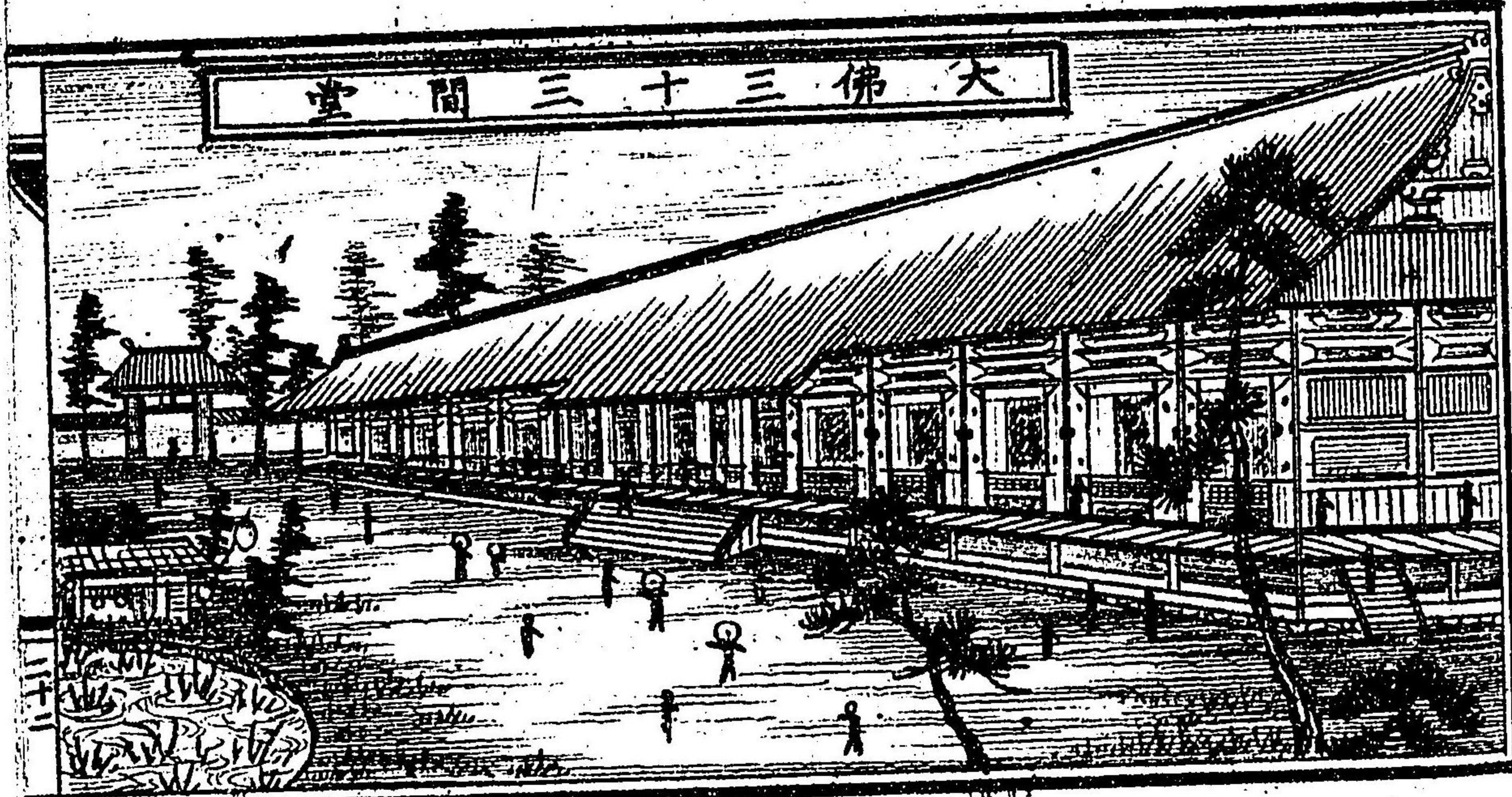
よ阿ノ禪宗聖一國師開基建長七  
七年乙卯九条道家公の創建なり  
當寺涅槃像ノ北殿司の筆也通  
天橋の景色春秋楓木の寄觀ハ  
都下第一なり 泉涌寺ハ九丁



泉涌寺

愛宕郡今熊野村

阿ノ日兼学宗弘法大師開基建保  
六年戊寅僧俊苾芻中興あり仁治  
年中より曆朝の御塔を建らる



大佛三十三間堂



右音

新熊野觀音  
 愛宕郡今熊野村之河  
 室西國十五番札所也真言宗本尊の  
 觀世音是弘法大師の作也此三間堂  
 へ八丁



泉涌寺

是寺の泉涌水吹出す又當寺天子  
 の官寺に成人皇八十六代四條院推  
 此後御代々帝當山へ奉り奉る御  
 廟所也  
 今熊野へ二丁五丁

三十三間堂

下京區第七組本佛

境内七條通より南より天台宗蓮華王院頭痛山平愈寺と号後白川院の御願也備前守平忠盛と奉行とし長承元年壬子創建觀世音千體と作堂舎建立は本堂東向也南北六十二間を二間隔て柱を立てり三十三間堂といふ堂後於て往昔大數有大衆數の遊藝新今照野觀音寺別當初は其後諸侯の家臣出て村衛の善事を其後紀房家臣和佐基八郎奉り總矢一万三千五十三の内通矢千五百三十三矢數是今世迄第一なり

七條古門

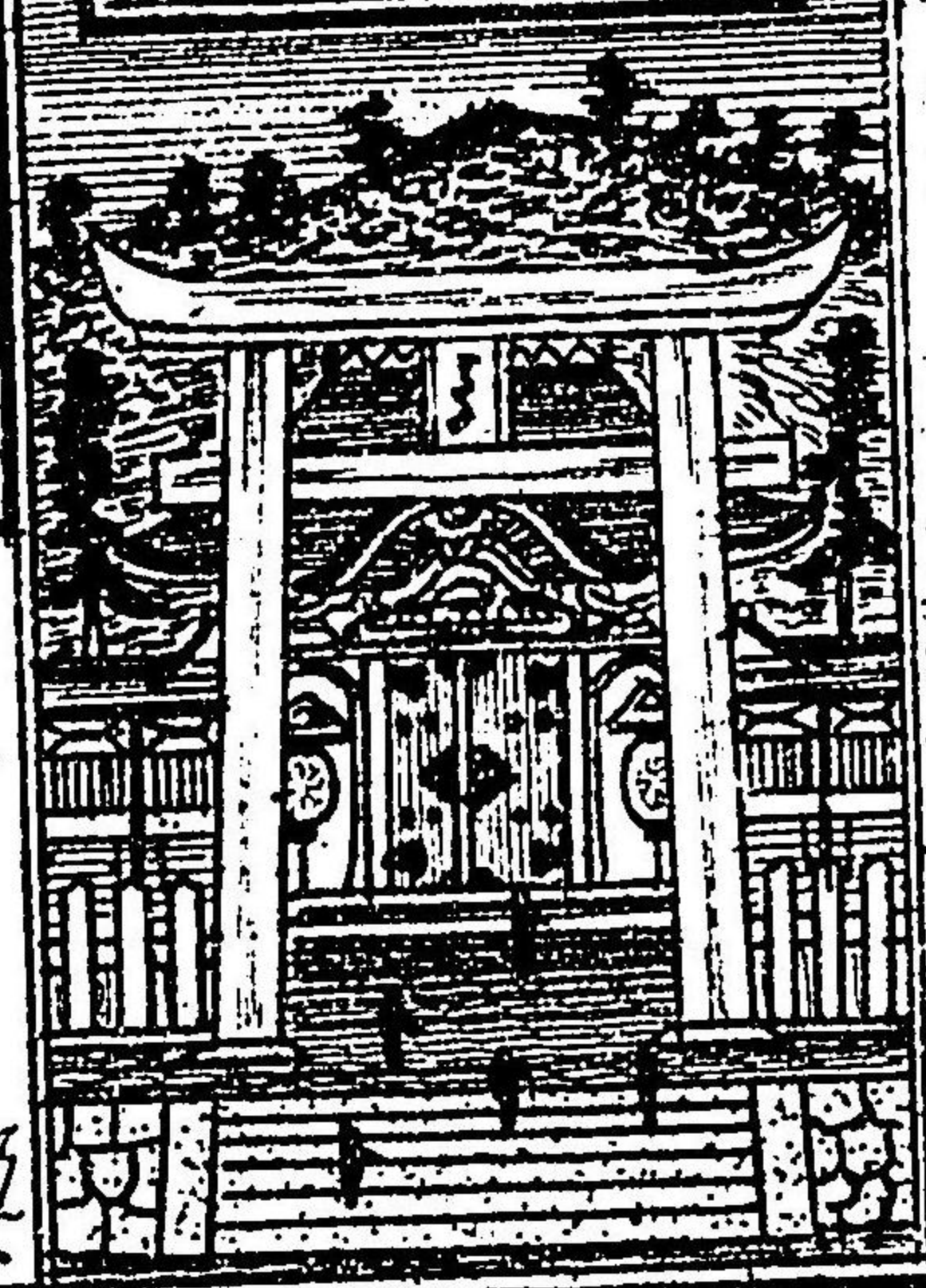


豊國神社

右同町の三町北

河守別格官幣社豊臣秀吉公を祭る慶長四年己亥四月豊國大明神の号を賜ふ官祭は九月十八日明治十年四月十八日と私祭神幸を再興也

豊國神社



大佛方廣寺

右同町の西

台宗天正十四年丙戌豊臣秀吉公大仏殿を建立せ祝迎の大像高サ六丈餘あり殿の高サ北五丈斗寛政十年回祿其後半像を再建せ洪鐘高サ一丈

四尺徑九尺二寸原々九寸慶長十九年子鑄る世々名高き鐘なるも而後明治二年鐘樓を毀ち鐘の露地は卸去せり而して明治十七年九月上棟の式を行ふ尔後彼岸會米子之を撞て世々廣く利益す



耳塚 右同所の前の町

文禄元年壬辰朝鮮征伐の時数万の敵合を討取刑剗して日本に送り此に埋としゆへ耳塚といふ塚の廻り百廿一軒高サ五間頂は五輪塔を居此西の方名物大佛餅家あり



歌中山清閑寺 愛宕郡清閑寺村

阿多真言宗此寺楓樹多春秋景色宜し

西大谷

下京區北一組五條

橋東之河、真宗本願寺見真天師の廟所より唐門前蓮池之紅白蓮を植る白石の目が紅橋なり。東に鳥辺山通妙寺ありお志願傳共衛の墓あり是より清水へ近道あり清水一町。



西大谷

清水寺

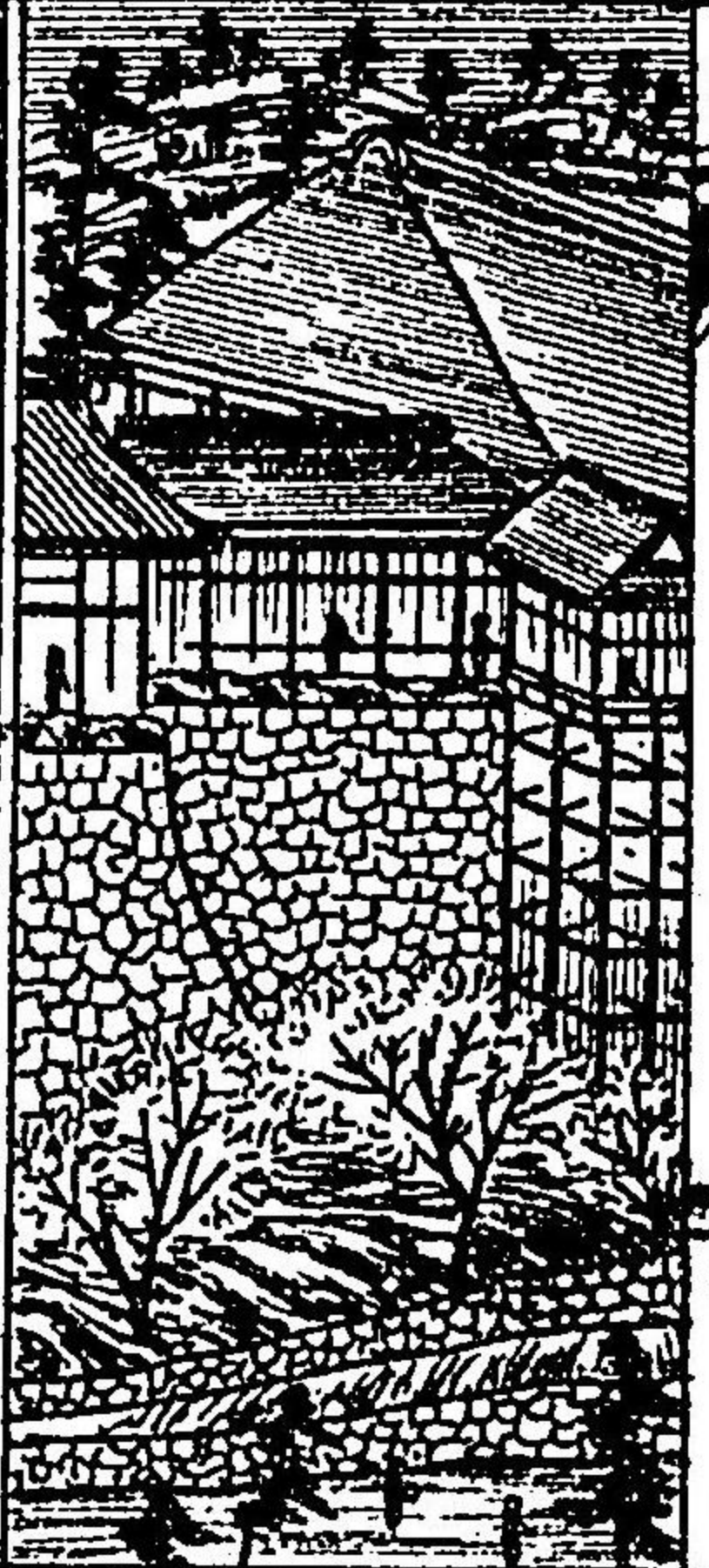
下京區北二組

河、真言宗宝亀十年庚申僧延鎮草庵を此地に結び後大同二年阪上田村磨堂宇を創建す。東夷征罰の時當寺の本尊を祈り成就せる境内櫻木多し。車宿里の花い古歌にも詠せし門を都下一覽景色よろし。又橋下之音羽の龍河重世も名高し。又門前之陶器店数多あり所下銘産なるも。南本願寺火葬場あり。

清水寺



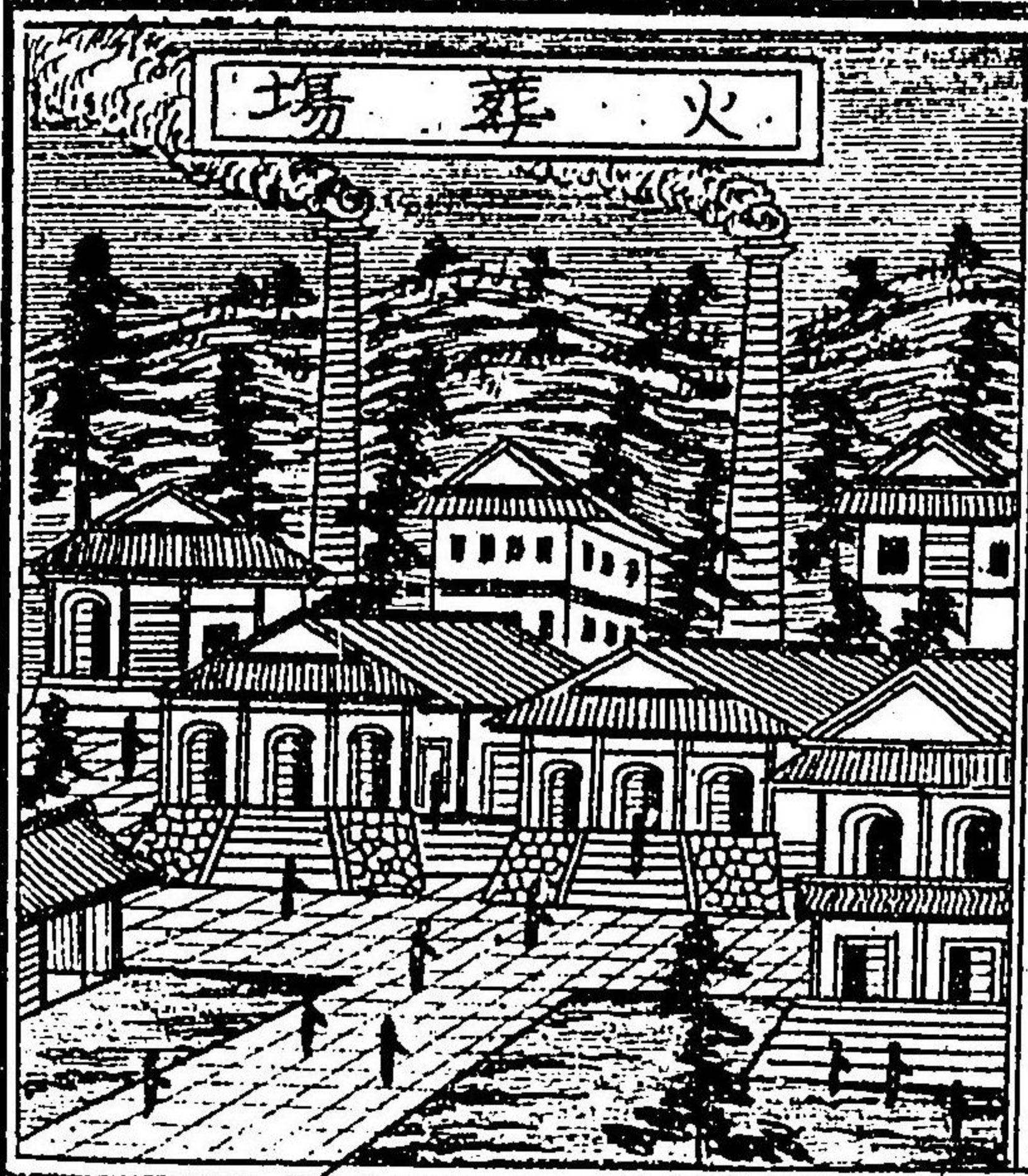




願寺 火葬場

小松谷後渋谷越の南山眼より

舊火葬場所々々有と廢し明治十年今の地を開諸宗共此地を送り行ふあり又土葬地は大佛山南より又西の火葬場の龍安寺あり



火葬場

小松谷

下京尾北八組馬町通東より

浄土宗惠空上人開基也本堂ハ殿舎造九條殿奇附樓門額九條關白尚實公筆あり昔月輪禪定兼實公の御所地也法然上人ハ此殿御堂よりしまし小松大臣重盛公の山荘よりて燈籠堂地也

三嶋社

同属小松谷の

前よりあり當社の婦人來産護の社より氏子者ハ一代贖と禁ず此西に繼信忠信の二塚あり

小松谷



八坂の塔

下京尾北二組の阿

法觀寺と号す禪宗推古天皇の御宇聖德太子創建伽藍數度回祿之屬す今の塔は元和四年戊午の造營なり其昔淨藏貴野當寺の塔が傾きしを祈直せしと云

八坂の塔



靈鷲山

同所の東山

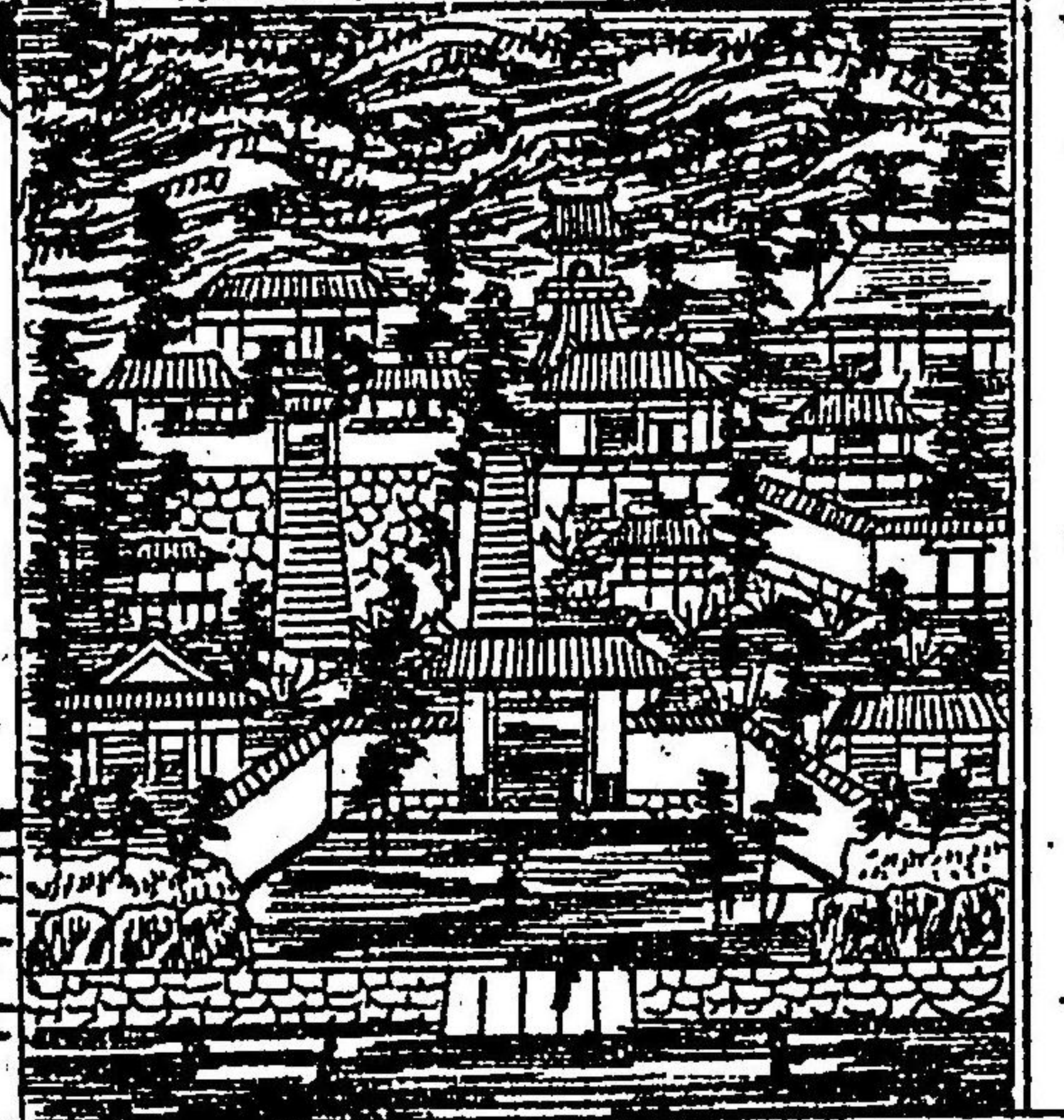
時宗正法寺といふ傳教大師の開基中興阿上人住玉當山

高臺寺

下京區北二組

あり禪宗僧子葺開山僧三興多慶長十年乙巳豊臣秀吉公並之北政所の靈舎あり結構美を盡せり又時雨茶屋の傘の亭は子利休好む所あり古ハ雲居寺と号す也本尊ハ釈迦如来。又方丈の専門ハ秀吉公の船樓ありしが先年焼失其境内ハ秋の名所世々聞ゆる所此頃諸人群集せり

高臺寺



双林寺

下京尾十五組

この寺は時宗より至徳年中  
國阿上人開基あり頓阿法師  
康頼入道も此所之寓居を西  
行庵又芭蕉堂ありて文人  
雅客常々相集る後柏原天  
皇宸翰を添給ふ中興開山  
の縁記せざる由



東大谷

同尾全所の北

この寺は真宗東本願寺の  
見真大師の廟所元禄年中  
の造營あり龍谷山の額を  
寂如上人の筆又開山大師  
存す

生地のよりし虎石今此所  
存す 長楽寺(一丁)

東大谷



長楽寺

右同所の北

多時宗延暦十二年癸酉桓武  
天皇の勅命より傳教大師  
創建す安徳天皇御衣の幡  
建禮門院歸洛の後御落飾  
ありし時戒師印誓上人へ御布  
施を賜ひ天皇の御衣を幡  
とし山内温泉場より此所  
料理屋又茶店多し

圓山

右同野の北子

阿彌時宗安養寺々中正  
阿彌在阿彌之寮等何  
花雪の朝暮絶景他子類  
呼又好野應少歌舞  
地佳有と興す諸集會  
天の社傍ふ吉水井あり



知恩院

下京尾十五組

河津土宗建曆元年辛未慈  
鎮和尚此寺と源空上人の寄  
附す承安四年甲午開基あり  
洪鐘高さ二丈八尺且九尺厚九  
寸五分胡月設教日此鐘と撞  
音三里四方と聴申元生石鏡磐  
石あり糸櫻浅櫻名高く多し



八坂神社

下京属十五組

河原曰祇園社寺と称せ官幣  
中社素戔嗚尊を始十柱の  
神を祀る元慶年中創建あり  
官祭ハ六月十五日私祭ハ七月  
十七日全北四日山鉾を出せ此祭  
ハ日本無双の神変あり境内櫻木  
多し花の頃ハ夜櫻殊に賑へり  
又門外ハ祇園町と云ふて世名高  
き遊里なり



八坂神社

南禅寺

愛宕郡南禅寺村

禅宗僧晋門開基正應四年辛卯  
龜山上皇離宮を捨て是寺を創  
建あり山門前ハ高さ二丈余の石燈  
籠あり銘曰佐久間大膳亮平勝之  
寄進之云々とぞ 永觀堂ハ四丁



南禅寺

永觀堂

右同町の北とあり

浄土宗禅林寺と号し清和天皇の  
敕願よりて真紹僧都の創建あり  
永觀律師中興又境内蓮池の辺楓樹  
紅葉の頃ハ景色より 若王寺ハ一丁



若王寺社

同郡若王寺村

子より後白川法皇の勅願にて  
創建素と修驗兼職の寺也  
しが御一新後社とあり後の山よ  
三ヶの瀑泉あり又聖護院に属  
本社熊野三社若一王子鎮座に  
那智山本地十面觀世音安置す  
境内四時の景色とす 黒谷六丁

黒谷



愛宕郡岡寺村より金戒光明

寺と号し浄土宗圓光大師開

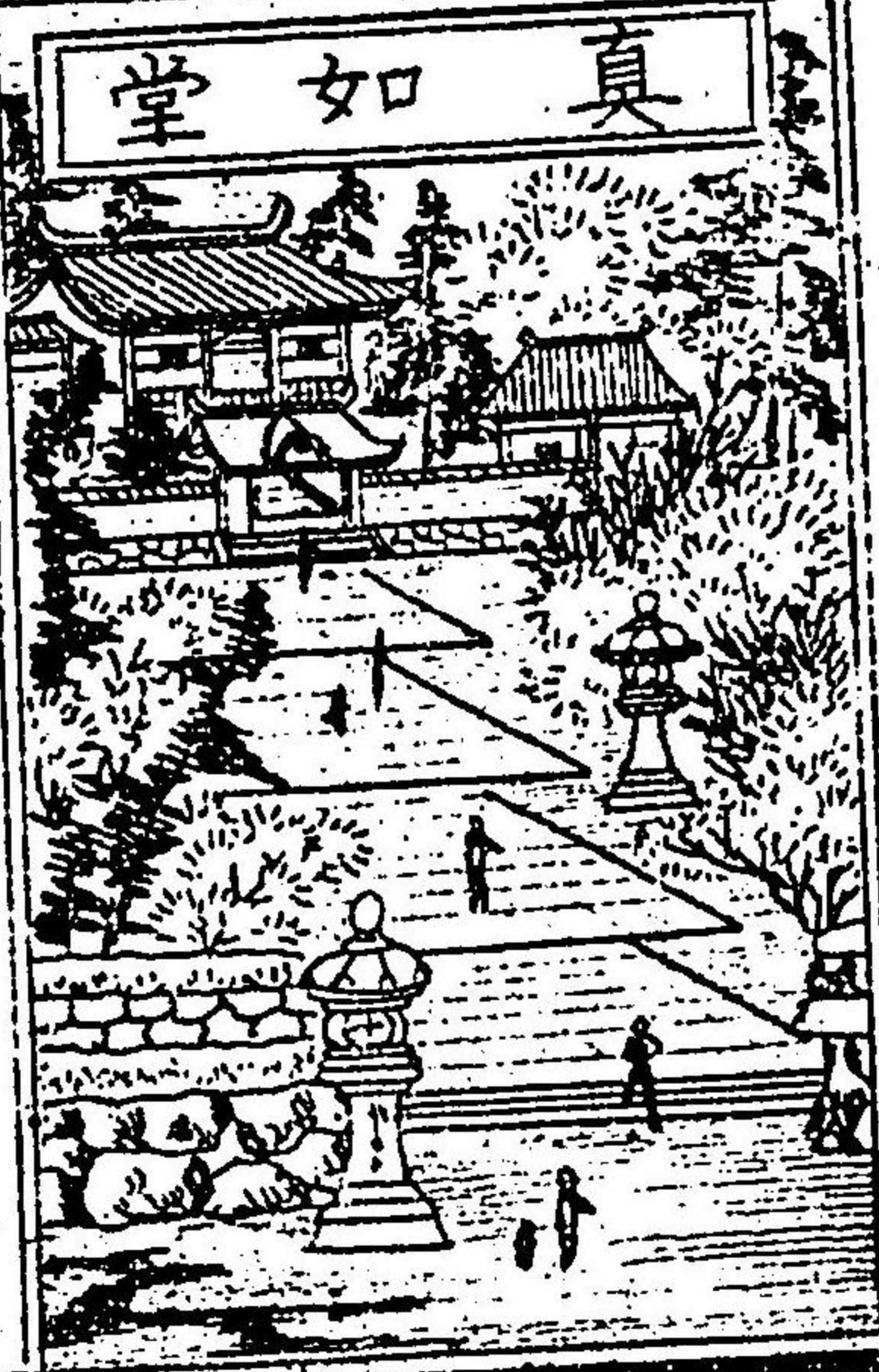
基安元元年乙未創建あり

初の白川禪房と称す後宇多

天皇今の号を給ふ境内之紫雲

石又い無官大夫敦盛熊谷次郎

直實の兩塔あり真如堂二丁



真如堂

同郡浄土寺村

より真正極樂寺と称す天台

宗僧成実開基正暦三年壬

辰東三条院皇太后離宮を捨

て此寺を創建す吉田八丁

吉田神社



吉田

同郡吉田村より神の岡と称す官

幣中社武甕槌經津主神天兒屋命

姫神を祭る仁壽元年辛未創建

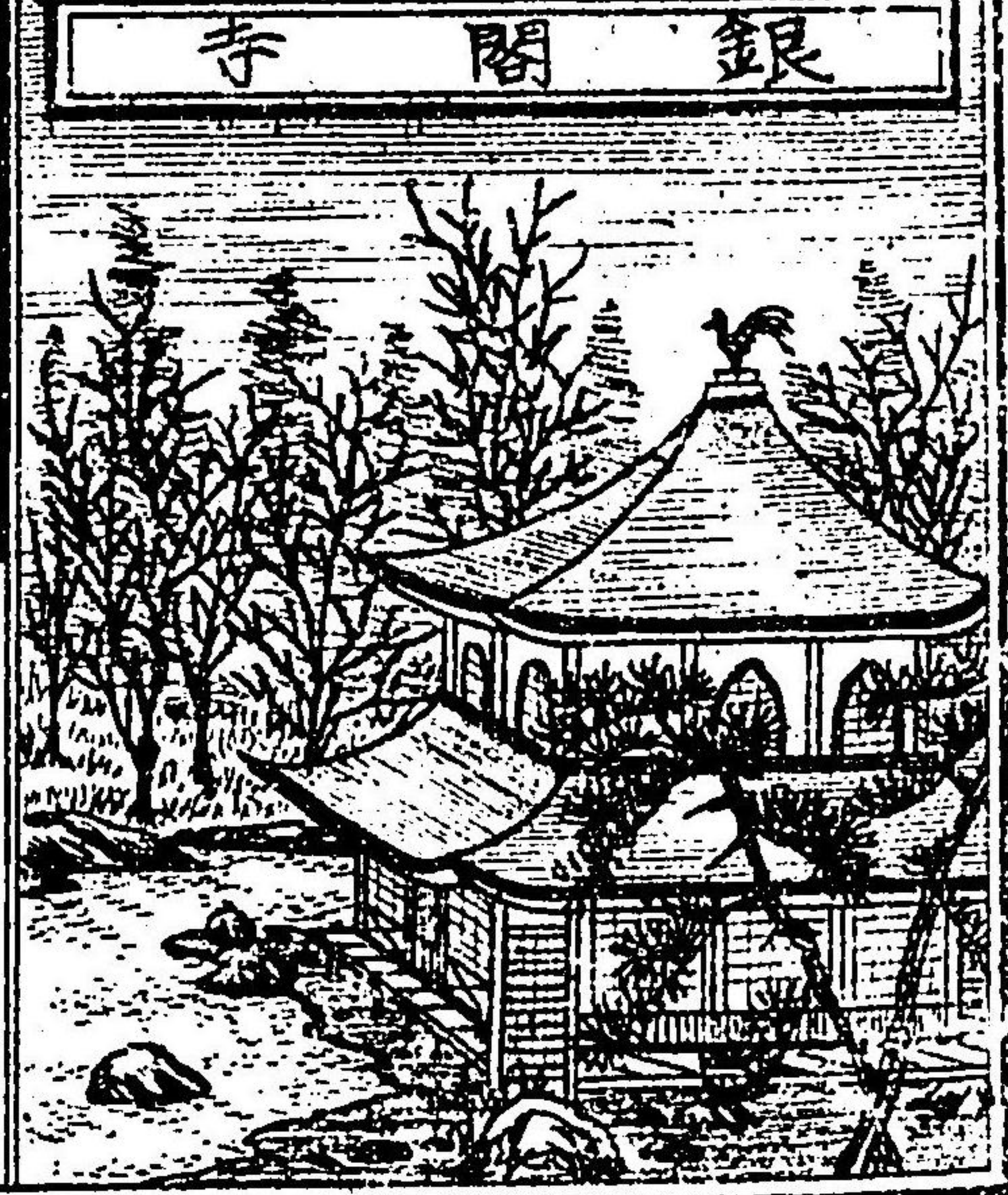
攝社日本國中三千六十三神を

觀請す當社大額い嵯峨帝宸

筆小額と後土門帝宸筆あり

是より銀閣寺へ十四丁

銀閣寺



銀閣寺

愛宕郡津志寺村

この山を東山慈照寺と云ふ禪宗

夢窓國師を開祖とす庭に

銀閣より石泉の風色佳美なり

後の山を如意ヶ嶽と云初年八月十六

日の夜大文字を點火す此山を俗

詩仙堂

同郡一乘寺村

この山を黃檗宗此所を鴻儒石

川丈山の別荘也其由縁を畧す

百乃遍

愛宕郡田中村

よこあり知恩寺と号せ洋土  
宗法然上人開基建久年中洛  
中創建せしが後寛文年中今  
の地に移せ弘法大師筆利劔の  
大名号又宗  
尔玉平相国  
清盛の宮  
白糸あり



索病院

上京尾十二組惣井

町より今い西洋造りにて頗る美  
觀なり此院の北京都医学学校あり

病院



護王神社

上京尾第十七組鳥丸  
通上長者町上ル西側

別格官幣社祭神主和氣野清  
磨の靈を祀り給ふ也元社高雄  
山は有と明治十九年十月三日當地置ル

護王神社



梨水神社

上京尾第十二組寺町  
通荒神口上ル梨水町

別格官幣社主御祭神八藤  
原忠成公の灵を祀り給ふ也  
當社明治十八年九月創建あり

梨水神社



中学校

上京尾第二十二組  
寺町通九太町上ル

此校ハ英佛獨。茅の洋学を教  
授する場。管内ハ勿論他縣の者  
も共入塾を許さる其造美あり



下御靈社

上京區弟州一組寺町竹屋町上ル

貞勸五年癸未崇道天皇伊豫親王藤原夫人吉子橘逸勢文屋田宮警と奈る享保十七年癸子十一月遣勅依て靈元天皇と合祀す

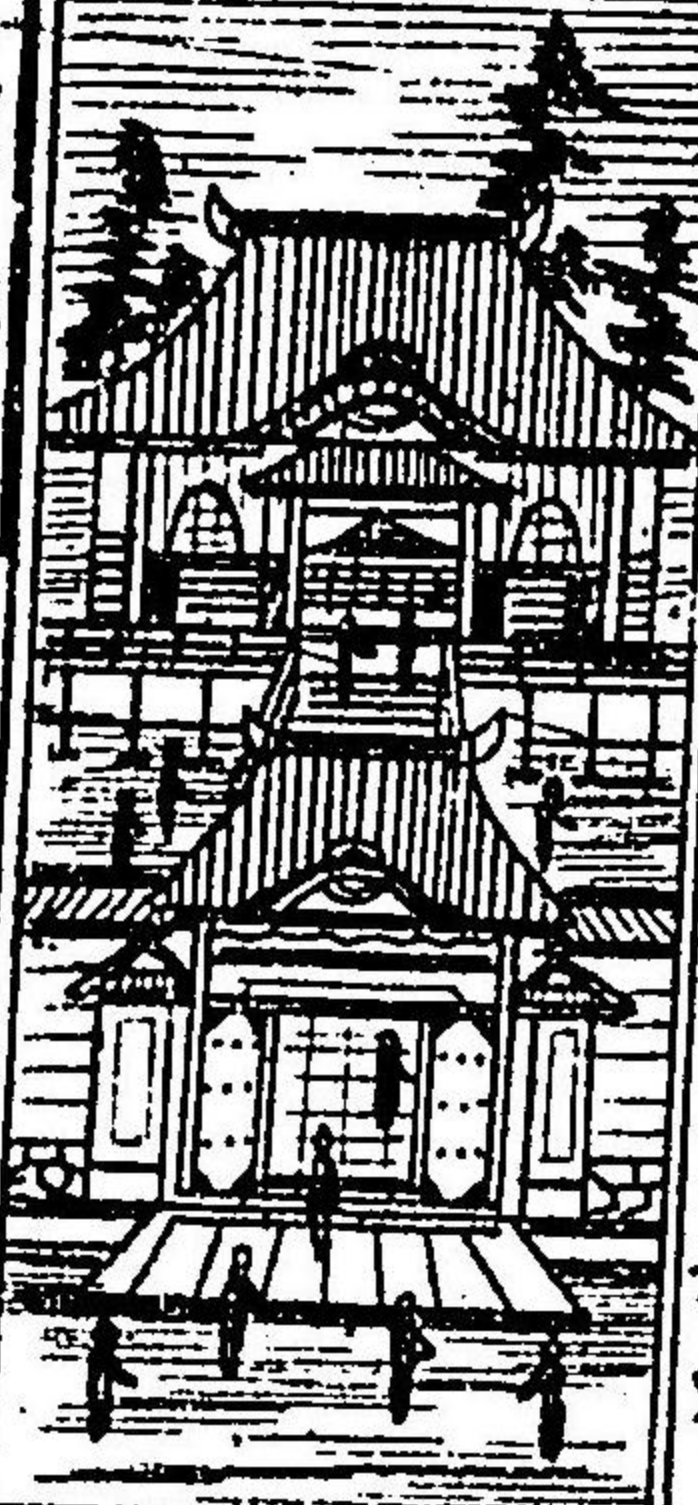
華

堂

上京區卅一組寺町竹屋町あり

天台宗寛弘元年甲辰行圓上人創建也行圓常は華衣を著せし故に華堂の名を呼當寺の昔一奈新町の西あり西國十九番札所

華堂



織工場

上京卅一組河原町二條南あり

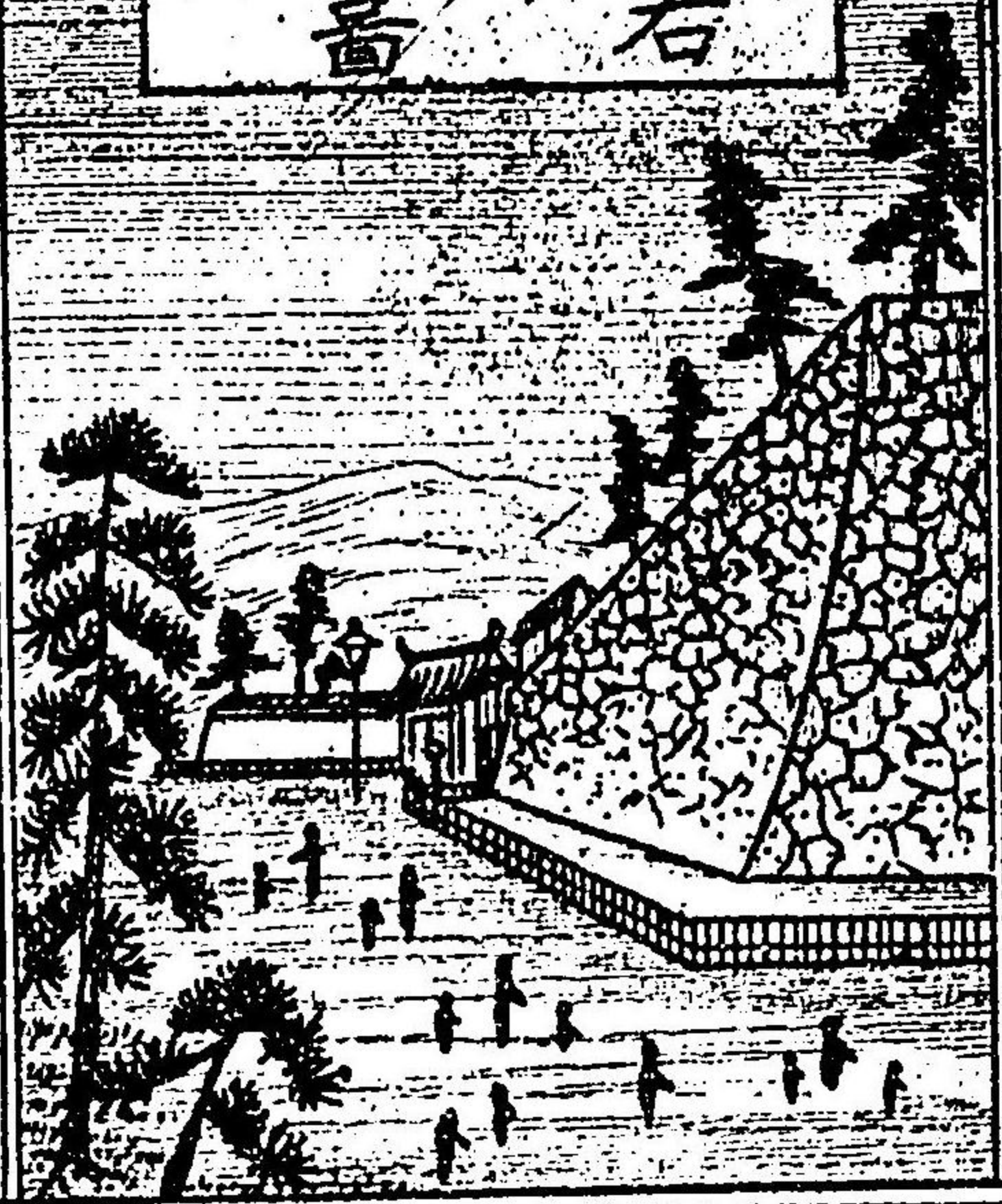
織物産業取締の場あり西洋造より美麗なり又此場の種々の織物西洋機械等と製造する又此の勸業場を置るあり

二條離宮

上京區二條堀川

何れ永祿十二年己巳織田信長公御造營同四月信長公義照公と與へ岐阜に歸らる其後一旦破壊せしを慶長七年今の錦城を築ける御一新の際誓く大政官代とある新白く政府を置る今の離宮と位置するあり

右 晉



水園寺

下京區第十七組堀川

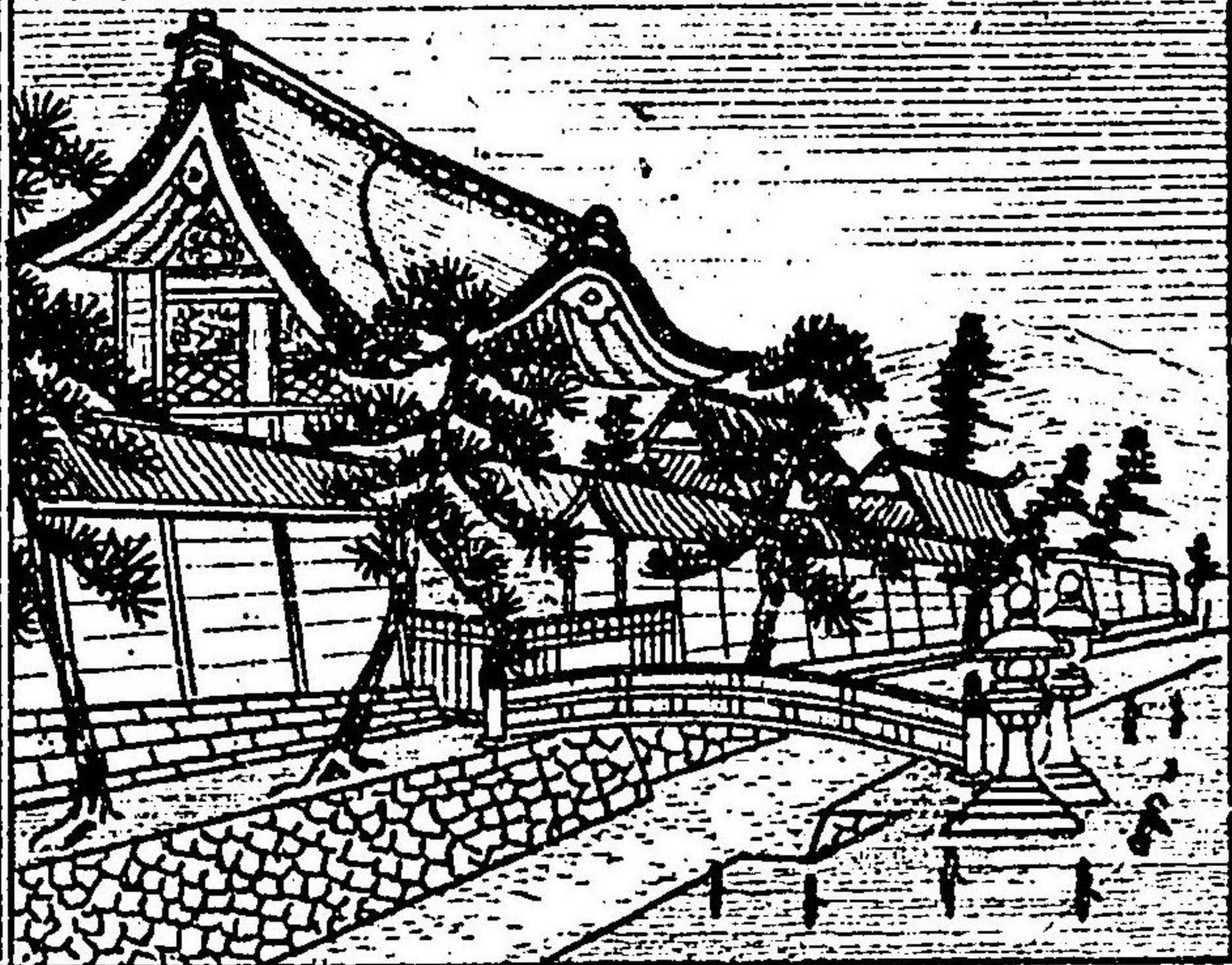
松原南あり日蓮宗。由来を畧

西本願寺

下京尾弟九三組六  
条あり

真宗文永九年壬申見真大師の  
女学信吉水之創建せむる後天正  
十九年大坂より今の地に移す本尊  
の開山自作世は骨肉の御影と云  
ふ庭前より飛雲閣あり石泉美  
観あり世は名高し御庭あり

西本願寺



真正寺

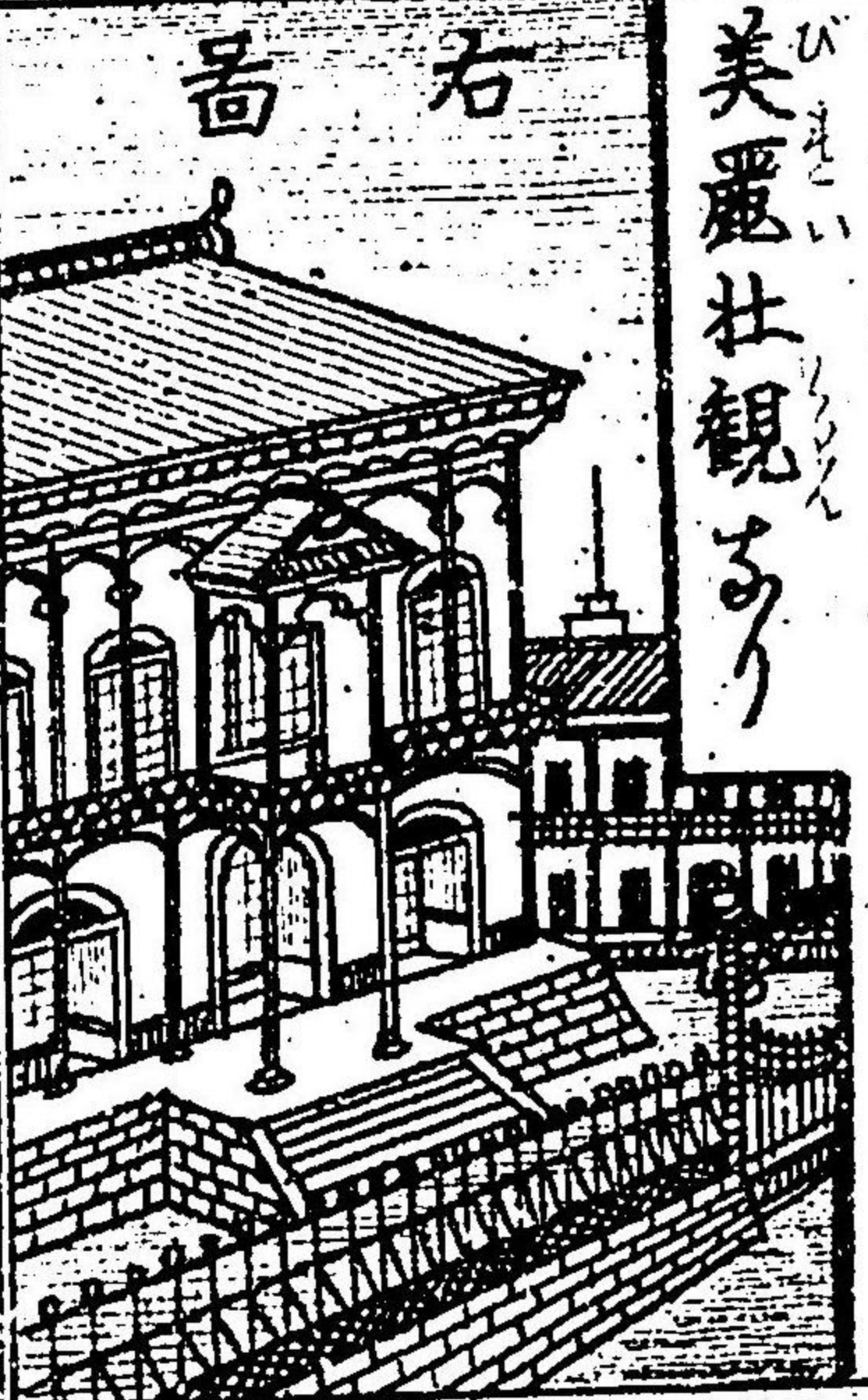
本願寺同所あり

真宗本尊の安阿弥作なり

大教講堂

本願寺産所門

前より是き一流の学業あり  
其形は總じて西洋造り模して  
美麗壯觀あり

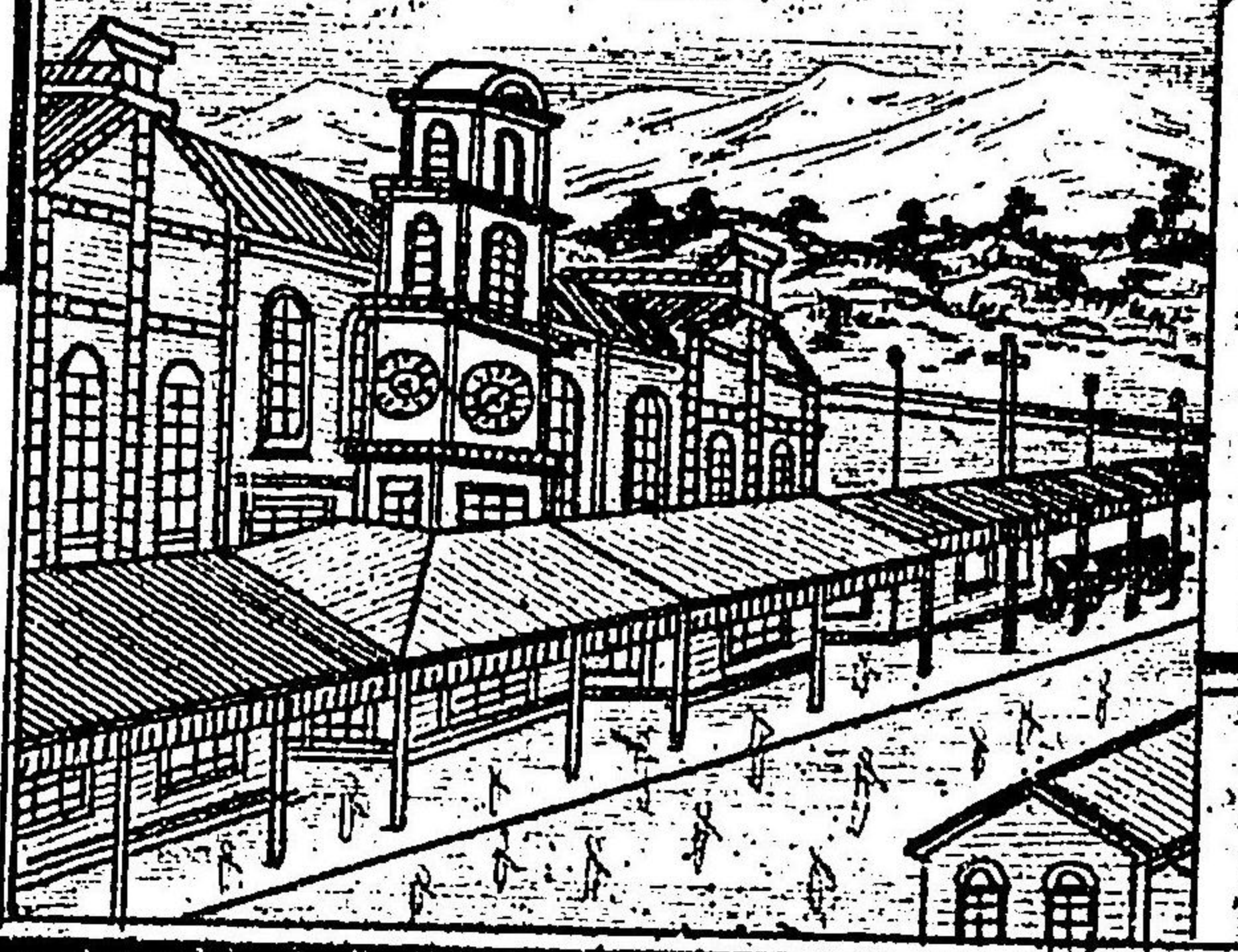


停車場

下京區鳥丸七條

南よりステーションと云西洋  
造りして頗る美觀あり此場  
と大坂神戸迄氣車日々敷  
度通ふ明治十年二月五日開業  
式行ふ又明治十二年八月十日  
と伏見街道稻荷及び山  
料逢坂山を越へ大谷及大津  
石場まで發着す

ニヨシニテス



東本願寺

下京尾馬丸通七條上

真宗慶長八年癸酉教如上人創建  
本堂聖人自作の像安置す明  
治九年十月親鸞上人へ見真大師の  
謚を給ふ旨を當本願寺専修  
寺又仏光寺與正寺錦織寺等へ  
御沙汰相成阿弥陀堂の御本尊  
より安阿弥作あり

東本願寺之圖



東寺

下京區第三十二組八條通  
大宮西入八条新町

八幡山教王護國寺秘密傳法院也  
真言宗開祖弘法大師舊此地也

大内裏の鴻臚館にて本朝の賓客  
 を儲け所あり弘仁四年在寺を空  
 海に給ひ右寺を守護に賜ふ空海  
 延暦廿二年五月に入唐し同三年十月に  
 帰朝して傳來の密法弘むる也



六蔵王社

有野の東寺北門の西  
 は有り天徳五年六蔵王権現と称  
 寺号と大通寺と云々

生寺

下京尾第九組

仙光寺通大宮と二丁西とあり  
 當寺真言律本尊の地藏菩薩  
 尊あり又円覚上人とらるる大  
 念仏と稱し狂言を始め  
 今をさき毎年四月十六日とらるる  
 二十八日まで狂言あり入群衆

嶋原遊里

下京尾十六組中

堂寺村新屋敷とあり古寛永  
 十八年今の地に移す遊女の太  
 夫と始女郎藝妓舞子等の遊  
 里あり



因幡薬師

下京尾十二組松

原通東洞院西之真言宗聖  
寺号す長保五年光朝禪師  
創建本尊薬師如来。を基  
盤の上之安置す



佛光寺

下京尾十二組佛

光寺通倉高汁谷山と号真  
宗親鸞聖人弘法所  
尊ハ親鸞聖人自作の御影を  
安置しあり



六角堂

下京尾六角通鳥

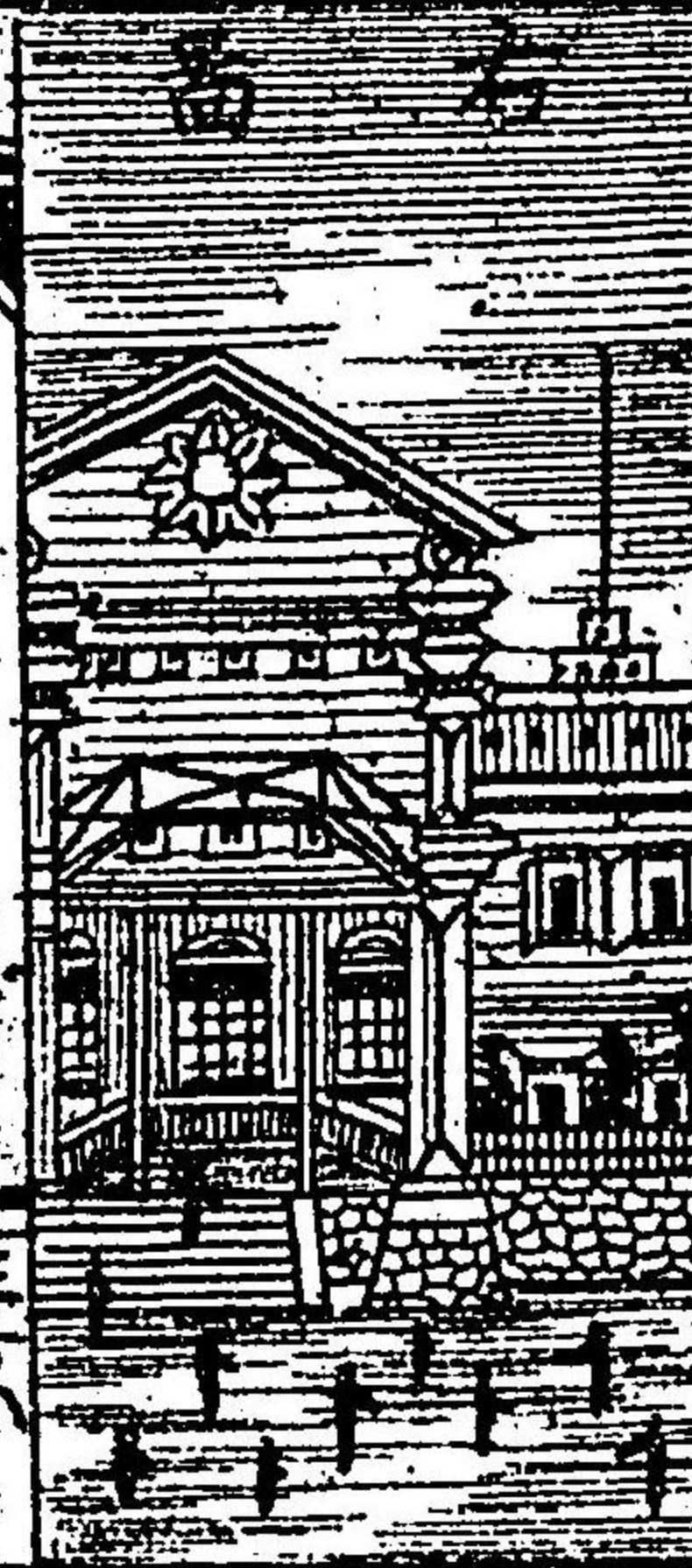
丸之河天台宗頂法寺と云聖徳  
太子創立本尊如意輪觀世音  
淡路國若や浦より出現すと  
云ふ西國十八番札所あり池の坊  
立花の元祖あり門前之旅宿有



郵便局

三條通東洞院東

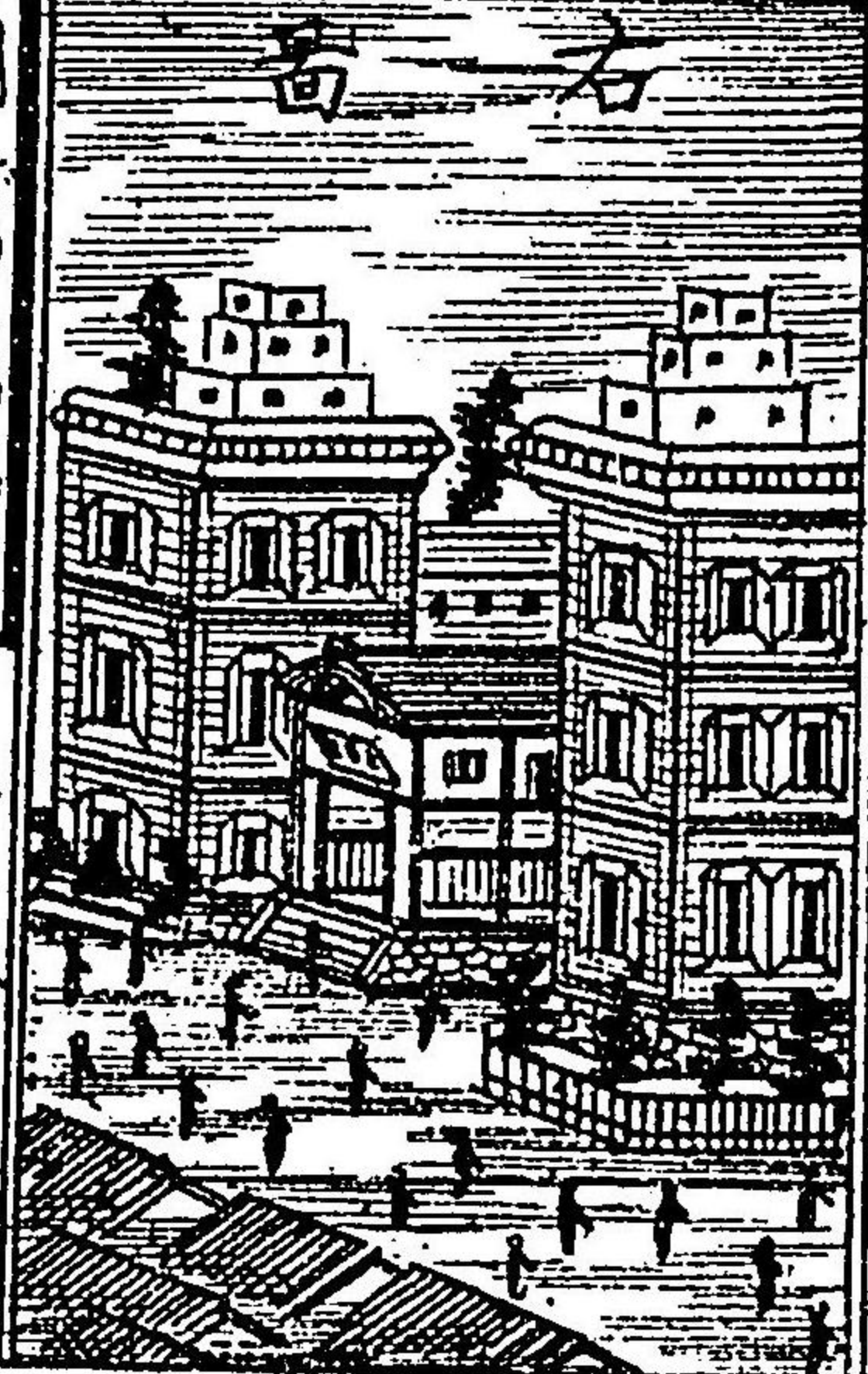
北角之河西洋造にして美觀也



電信分局

同所西北角

西洋造りて殊に美觀也



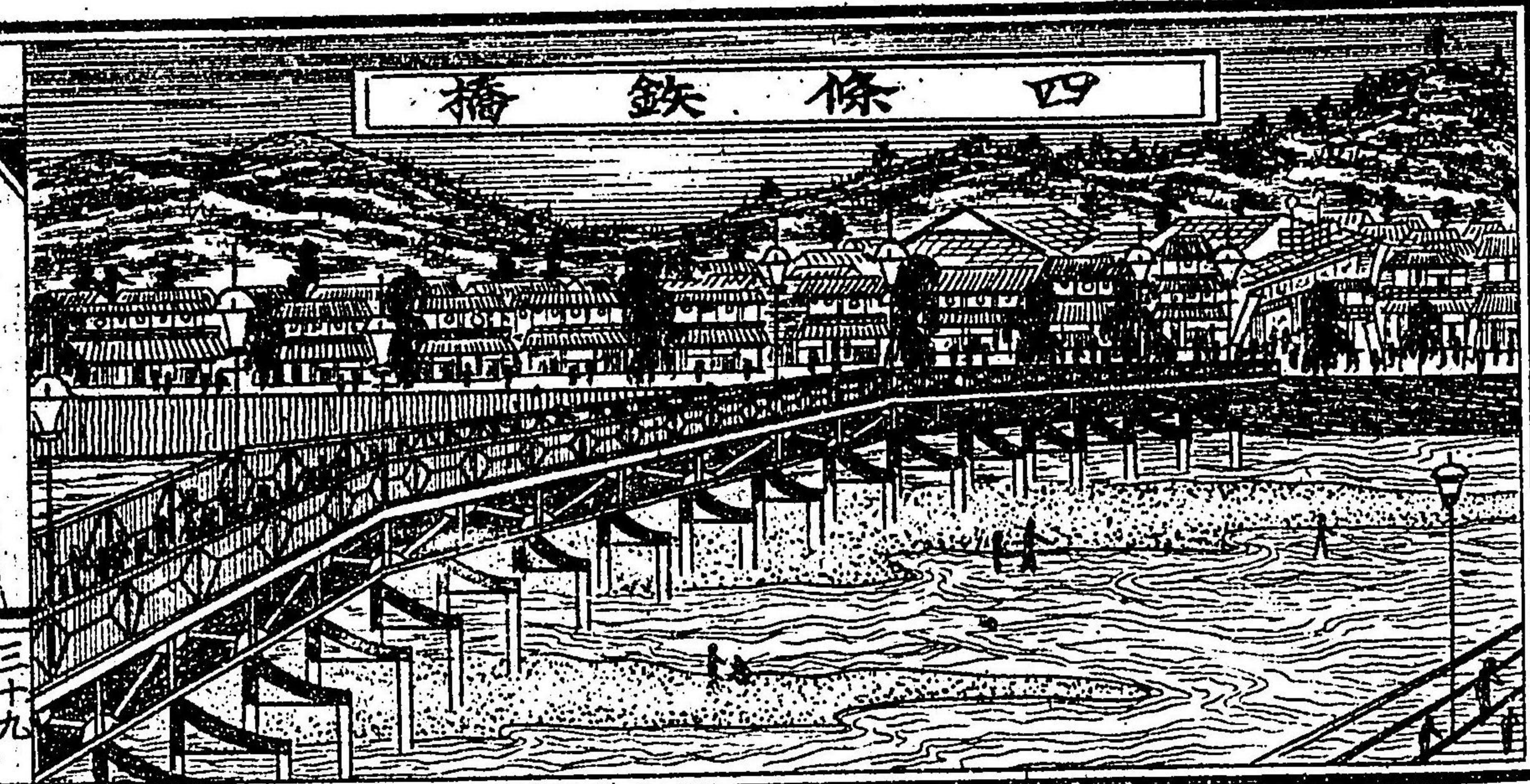
右

四條鉄橋

鴨川筋四條通

架る橋あり明治七年四月  
 一日落成此橋ハ都て鉄造  
 りて橋上ハ本の紅白硝子燈  
 を立殊々社麗あり橋の東ハ  
 両側芝居あり河原の夕涼  
 七月より始め東西乃青撲  
 川の邊ハ床と儲や燈火屋の  
 如く河原四方の景色より

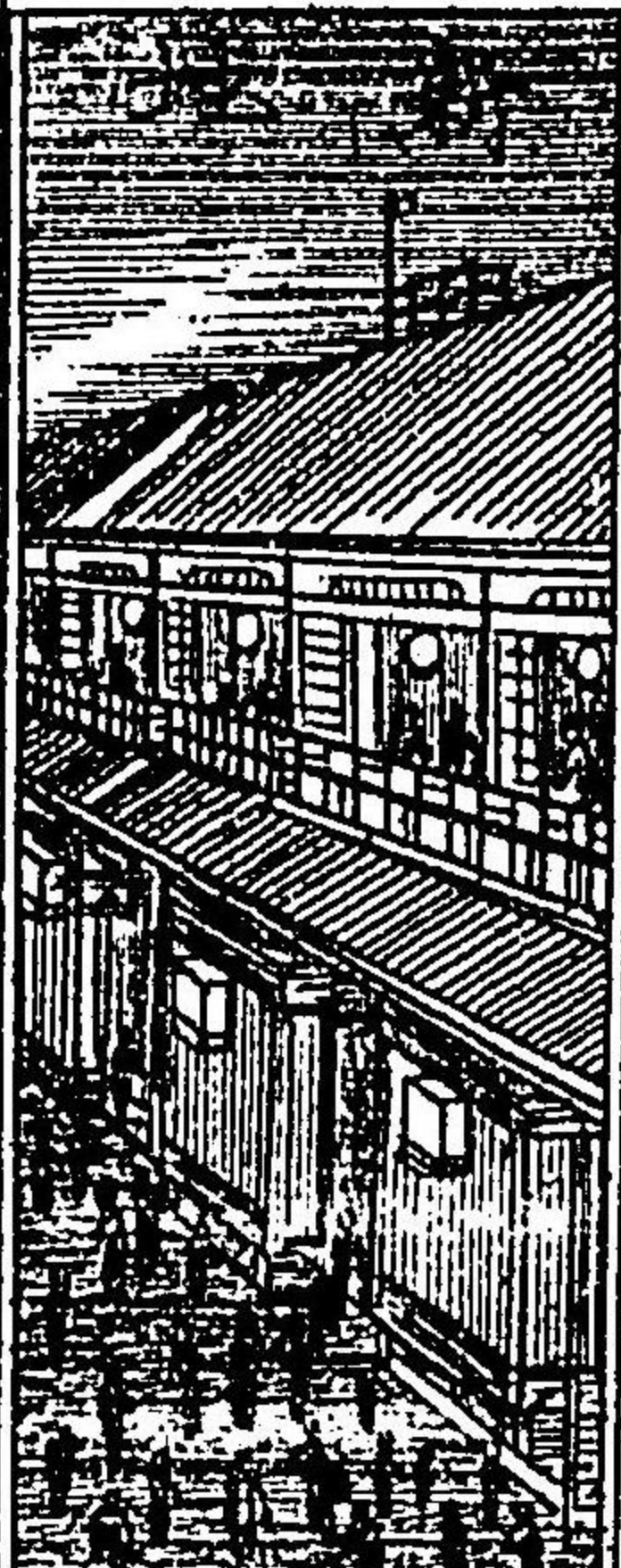
四條鉄橋



祇園新地

下京尾十五組四條通

鉄橋の東と云此の一方と遊所なり其  
南は歌舞練場あり是都踊と稱す  
又同所の東は祇園座なる演劇  
場あり其建形ハ御殿造なり又その  
南は驅撒院あり安井金毘羅あり



建仁寺

下京尾七組大和路

四條南より禪宗五山の第三位  
よして栄西禪師開基建仁二年  
壬戌源頼家創建なるも年号も  
以寺号建仁寺と云融大臣六條河  
原は殿舎を建玉と後ハ佛閣と  
あり河原院と号す當寺にあり  
鐘也此鐘と陀羅尼經の鐘  
也

建仁寺



摩利支天

同區建仁寺南門内

鎮守摩利支天尊ハ嘉曆二年ハ  
唐土より將來せし靈像也  
應驗ありとあり

蛭子神社

下京區七組 建仁寺町 松原北

祭神ハ蛭子命 榮西國師勸請  
仕玉となり 毎年一月十日 初蛭  
子 十月七日 蛭子講と云

六波羅密寺

同厩大和路東へ

本尊十二面觀世音立像御丈一  
丈空也上人作天曆五年疫癘  
時行死人数多有と空也上人  
是と憐玉ひ今の御本尊を作  
自比章歩供する典茶と疫病  
人は備玉へも一同は疫癘の人平  
愈す又本尊の南方に薬師如  
來あり傳教大師の作あり

六波羅密寺

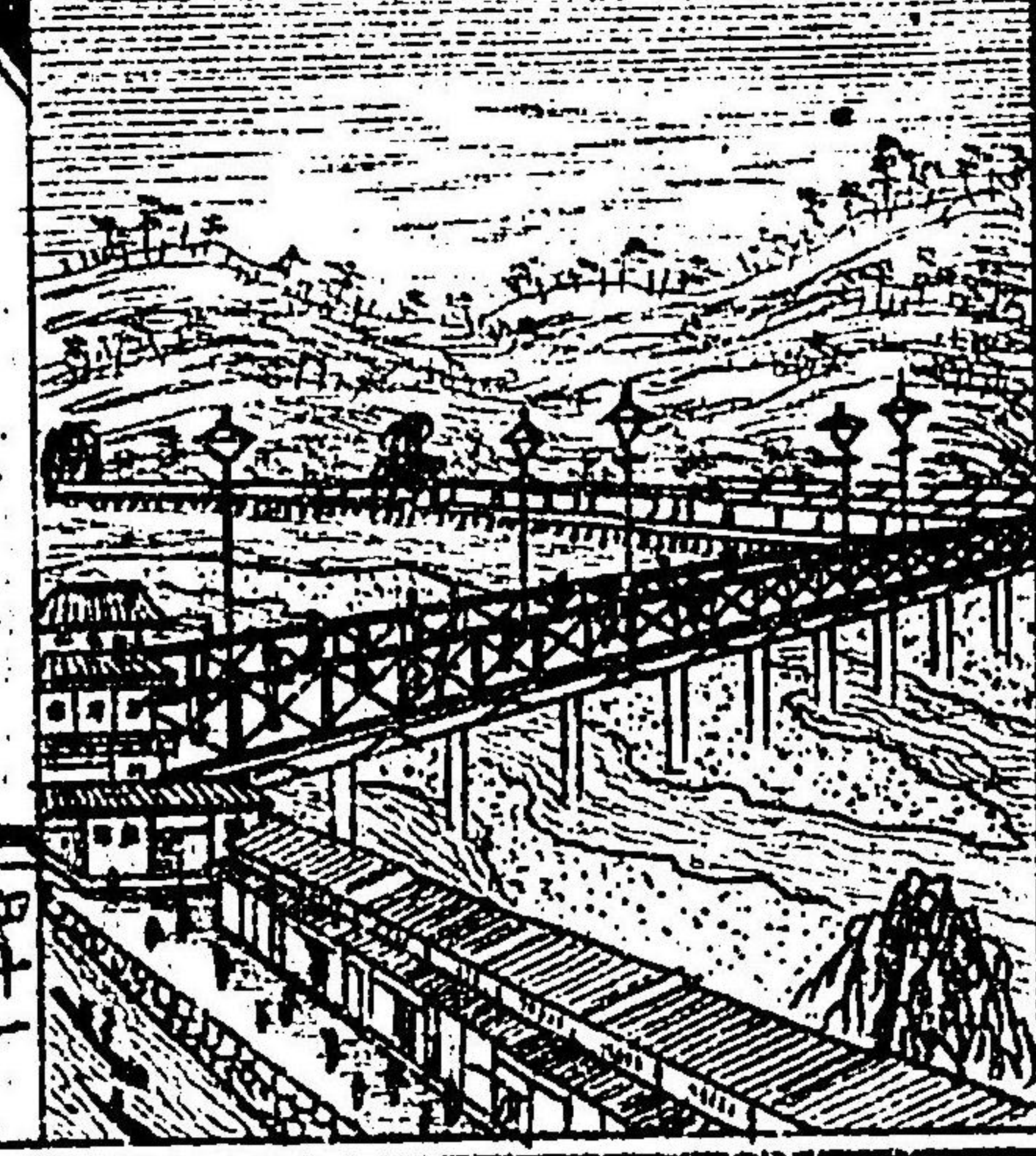


五條大橋

下京堀第六組五

條通寺町京此橋の初ハ今の松原  
通に在ると則ち昔の五條通あり  
豊臣秀吉公の御時今の地に移す  
故に五條橋通と云慶長年中ハ石を  
以て造其後改めて木橋と成長と七  
十四間幅四間一尺欄干擬寶珠ハ左  
右十六本有リ其形はリ明治十  
一年掛替西洋造にして大橋の西  
に小橋あり是ハ京伏運送の通  
船次別高瀬川を別

五條大橋





御影堂

下京尾五條通寺町

西之河多新善光寺と云天長年中檀  
林皇后の建立して開基弘法大  
師也中興王和上人真言宗を改  
時宗とあり本尊阿彌陀如来安阿  
の作あり寺内扇屋有是名産也



右圖

神宮教會

下京尾寺町通綾

小路行當より此場ハ伊勢大神宮  
廡の出張所なり社々大神宮と  
祭事車勢と取扱ふより洛内外  
神道を敬次る者此所請す時々  
説教有神札此所より附與次る也

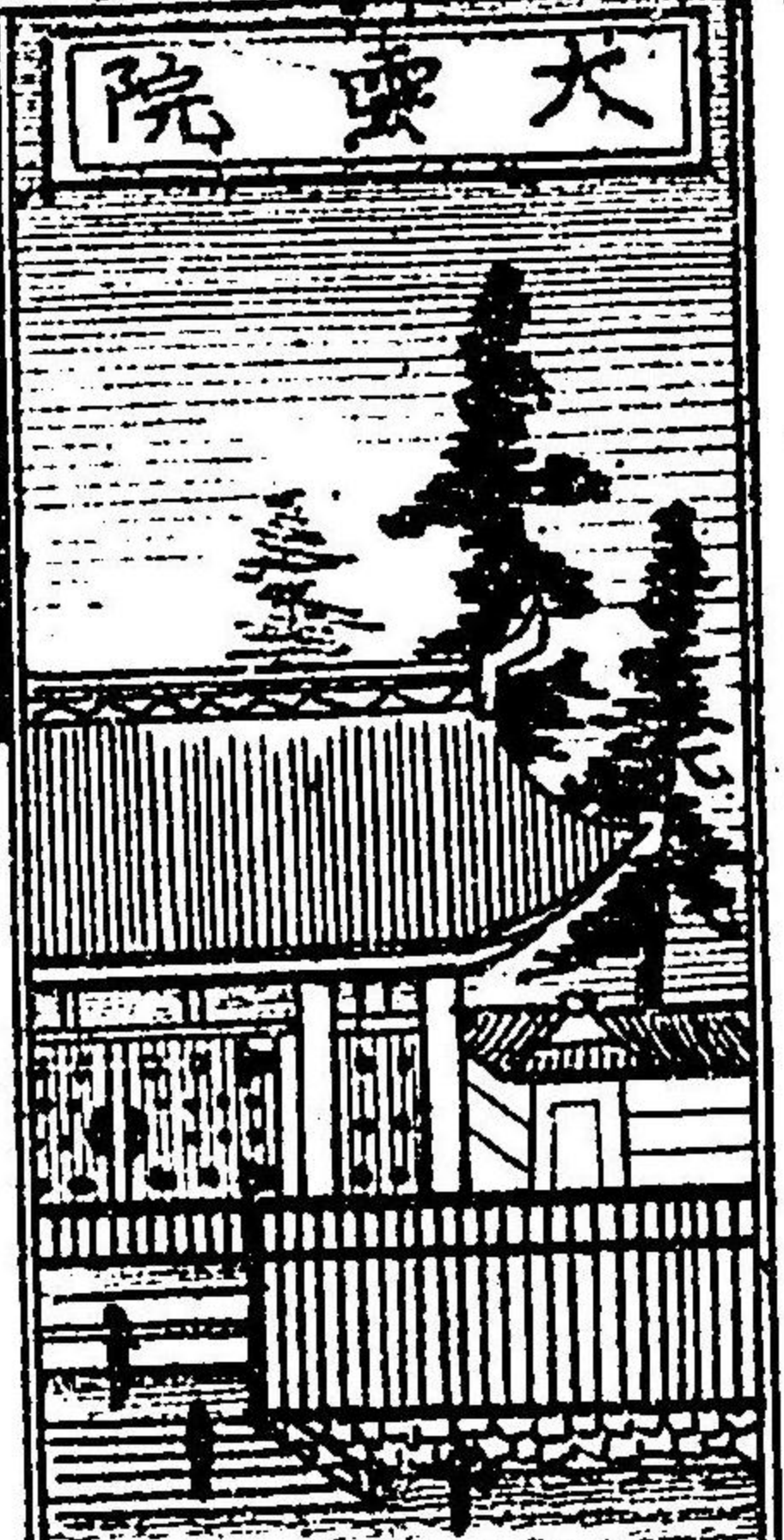


右番

大雲院

下京尾第十三組

寺町通南より當院より皇宗公  
誠檢場を置る此外神佛各派各  
宗中小教院所々あり



大雲院

八坂神社御旅所

四條通寺町東

此地ハ御旅所と云八坂御神事御旅  
中御神輿此御旅所より七日の間此  
處に祭る諸人群詣する



御旅所

新京極通

此地ハ三府第一

の繁花之地あり地野ハ下京尾  
 第六組寺町通の東の筋を  
 云ふ北三條と南の四條迄  
 数ヶ寺乃境内を開き一筋の  
 街と名して新京極と名号抑  
 此地ハ演劇津路滑勢其  
 百般の藝曲観場をばじめ  
 時々乃興行物珍禽奇獸又ハ  
 奥肉の酒店諸賈人我劣ら  
 トと新規と競ふて恐地を  
 争ふ熾然灯ハ天と覆ひ明る  
 月日の且ふ里暮行年の名残  
 迄數萬の看客踵を繼ぐ  
 實ハ繁昌地と云○誓願寺○  
 誠心院○清帶寺○長金寺○西光  
 寺○銷葉師○圓福寺○錦天神

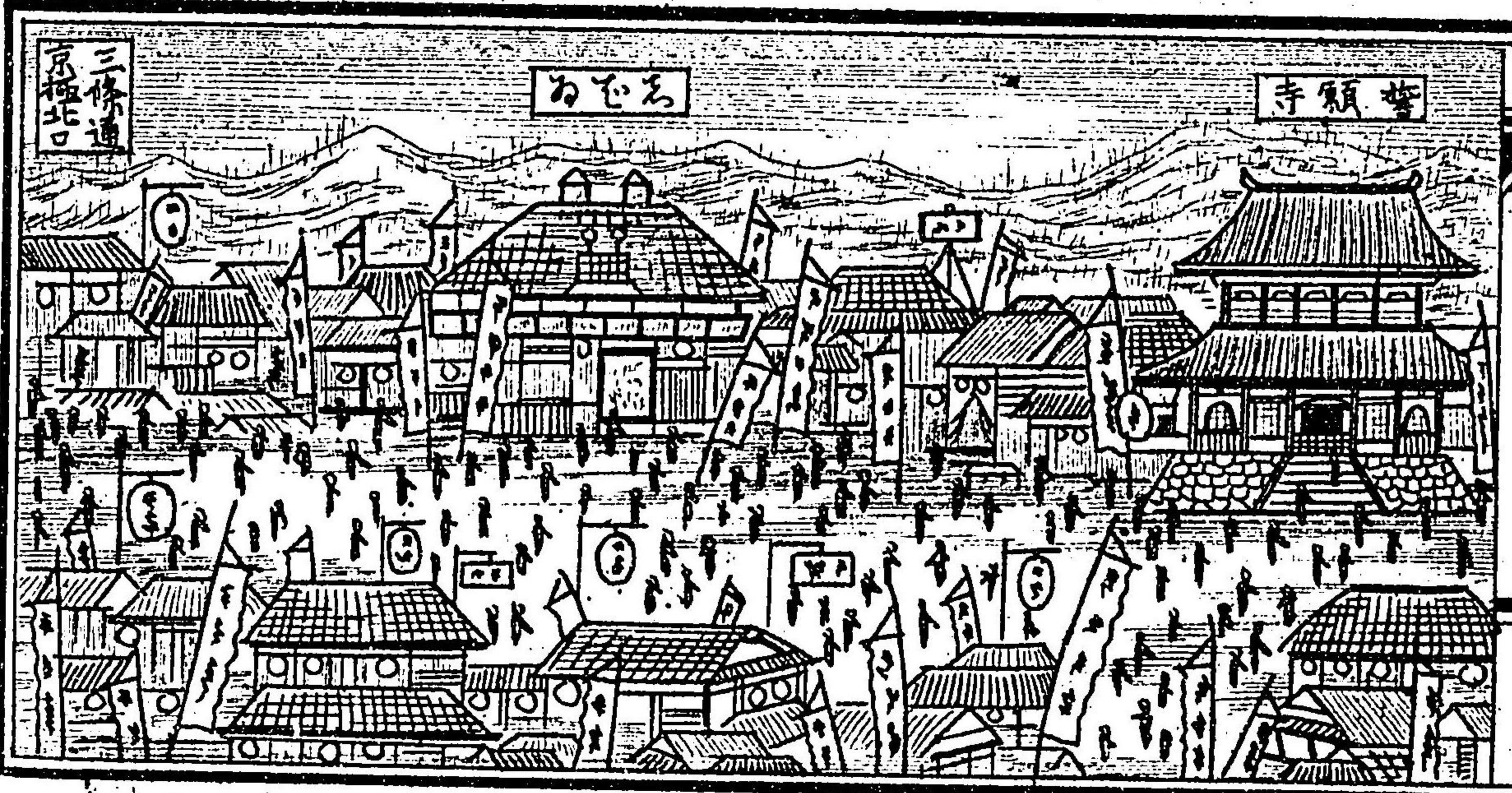
四條御旅  
道場

錦天神

銷葉師

圓福寺





山城地理要畧表

上京雇役所、十七組三早町、河ノ、反別  
 六百四町三段餘。戶數三万一千三十戶也  
 ○人口十一万八百三十餘人。立小學校、  
 三十二所。府立學院場、中學校、医  
 學校、画學校、師範學校、女子學校  
 盲啞院、体育場、療病院、測候所  
 博覽會場、博物館、養蚕場、○河流  
 加茂川。○橋梁、御幸橋、三條大橋、出町  
 橋、丸太町橋、二條橋、○北野神社、上御灵社、  
 下御灵社、○佛寺、相國寺、妙顯寺、  
 右各名、○府下、上京雇内、部子記也

下京雇役所、北五組塩竈町、河ノ、反  
 別五百平八町五段餘。戶數三万五千四  
 百五十戶。人口十三万二千六百七十餘人  
 立小學校、三十二。府立院所、驅籠院  
 麥酒製造所、停車場、○河流、加茂川

○橋梁八四條大橋、五條大橋、松原橋  
 七條橋、○温泉、吉水温泉、○神社、八坂  
 神社、○豐國神社、○佛寺、智恩院、東寺  
 建仁寺、本願寺、本國寺、東本願寺、高  
 基寺、清水寺、右下京、内ノ部ヲ記

郡	相	香	綴	世	久	治	字	伊	記	郡	乙	野	郡	愛	
四町五段	反別一萬 二千二百	六町二段	反別一萬 四百八十	五町二段	反別四千 八百七十	一段余	反別五千 七百六十	四町二段	反別二千 七百四十	二段余	反別四千 九百十町	町五段余	反別二千 五百	二段余	
余戸	九千七 百九十	余戸	六千四 百六十	余戸	四千五 百三十	余戸	二千六 百三十	余戸	九千二 百五十	余戸	三千五 百十五	余戸	六千二 百七十	戸	
人	三万八 千四百	人	三万 七千	人	二万九 千九百	人	二万三 千七	人	四万六 千五百	人	二万七 千九百	人	三万九 千七百	人	
名張川、布目川	明神大滝、炭酸泉	荒木川、津川	男山八幡宮、高雄山	栗山、國見坊、宇治	淀市中、六国山	牛尾山、笠取山	山利、ス、テ、ニ、ヨ、大谷、ス、テ、ニ、ヨ、醍醐寺、万福寺	稻荷神社、藤森神社、東福寺、伏見、鉄製場	稻荷神社、藤森神社、東福寺、伏見、鉄製場	巨椋沼、深草山	天王山、小塩山、淀川、小泉川、小知川、向日町、ス、テ、ニ、ヨ、山崎、ス、テ、ニ、ヨ	大原野神社、龍宮八幡宮	妙心寺、金閣寺、嵐山、多賀山、愛宕山、桂川	松尾社、平野社、輪官社、藤王社、仁和寺、天竜寺	泉涌寺、銀閣寺、真如堂

京都官幣社表

上賀茂別雷神社 下鴨御祖神社  
 男山八幡宮 松尾神社 平野神社  
 稻荷神社 八坂神社 白峯社  
 梅宮神社 貴船神社 大原野神社  
 吉田神社 北野神社 護王神社  
 建勳神社 豐國神社 梨木神社  
 國幣社 出雲神社 籠神社

諸祭官神之部

元始祭 一月三日 孝明天皇祭 二月廿日  
 祈年祭 二月四日 紀元祭 三月廿日  
 大原野祭 二月八日 仁孝天皇祭 三月廿日  
 春季祭 三月廿日 松尾祭 四月二日  
 平野祭 四月二日 神武天皇祭 四月廿日  
 梅宮祭 四月三日 護王祭 四月四日

船荷祭五月七日上加賀茂祭五月廿日  
 吉田祭四月廿日貴船祭六月一日  
 神宮月次祭六月四日八阪祭六月廿日  
 大後宵廿日建勳祭七月一日  
 北野祭八月四日男山祭八月十五日  
 神宮神嘗祭九月廿日豊國祭九月十日  
 白峯祭九月廿日秋李祭九月廿三日  
 天長節十月三日新嘗祭十月十日  
 鎮魂祭十月廿日四方拜十月一日

同私祭神部

徘徊祭四月十日加茂競馬五月廿日  
 船荷祭五月七日松尾祭五月七日  
 今宮祭五月廿日上御灵祭五月廿日  
 八坂祭七月廿日栗田祭十月十日  
 北野祭十月四日日吉祭五月十四日

明治十九年十一月十日出版  
 明治二十年一月十日刻成

定價金二十錢

京都府平民

編輯人 樺井達之輔

上京尾勢世組橋町廿番戸

京都府平民

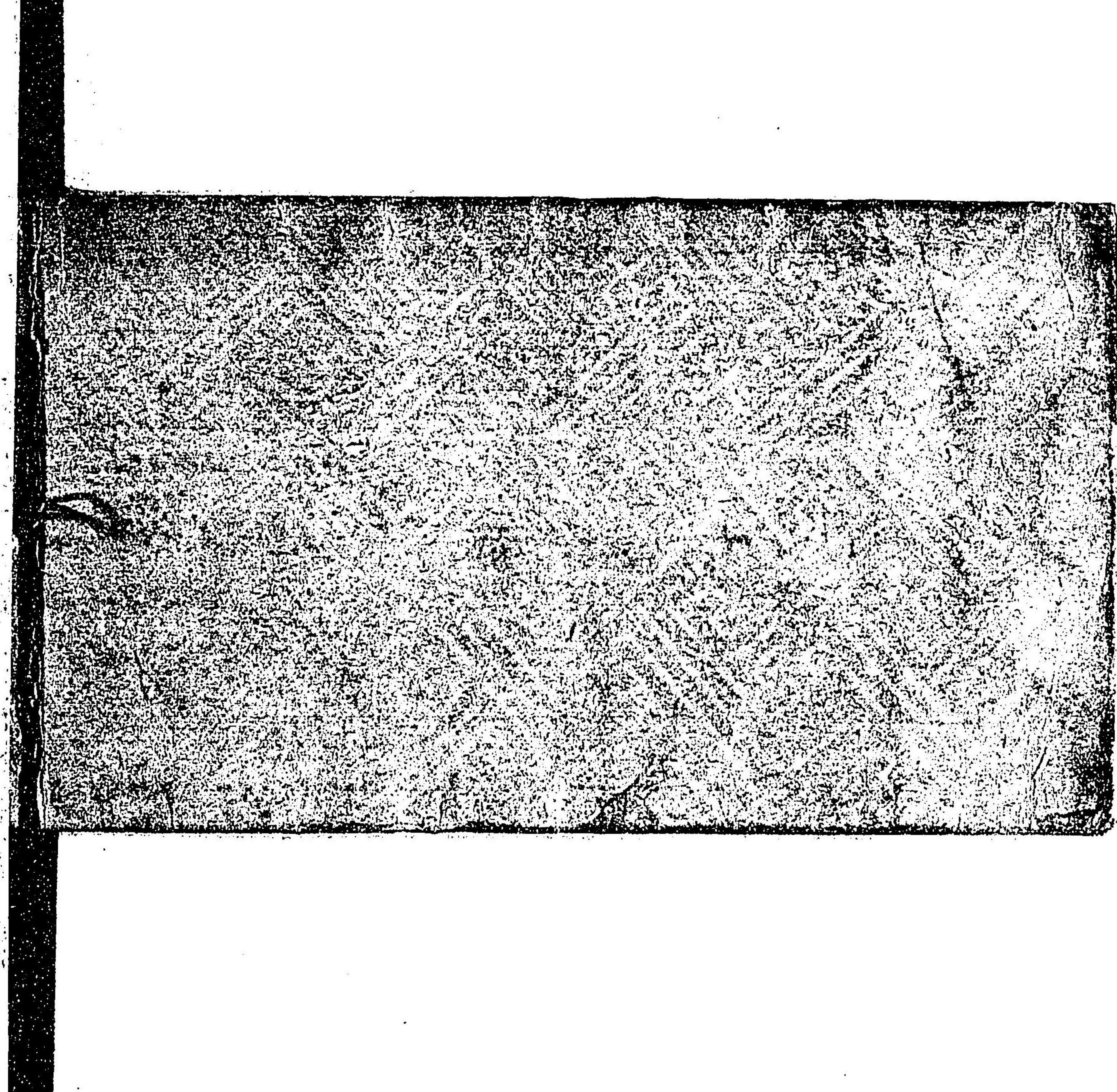
出版人 風月庄左衛門

上京尾勢北組大因寺 廿一番戸

發賣所

御幸町通三條北へ

中村淺吉



特58

536

025371-000-8

特58-536

京都名所案内記

樺井 達之輔 / 著

M20

ADC-2811

